

周防畑遺跡群

道常遺跡Ⅲ

長野県佐久市長土呂 道常遺跡Ⅲ発掘調査報告書

2018

佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第257集

周防畑遺跡群

道常遺跡Ⅲ

長野県佐久市長土呂 道常遺跡Ⅲ発掘調査報告書

2018

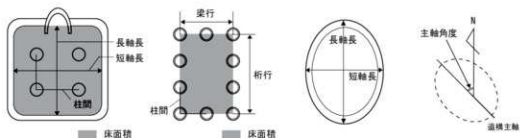
佐久市教育委員会

例言

- 1 本書は株式会社SKYによるサービス付高齢者向け住宅建設に伴う周防畑遺跡群道常遺跡Ⅲの発掘調査報告書である。
- 2 事業主体者 株式会社SKY
- 3 調査主体者 佐久市教育委員会
- 4 遺跡名及び所在地 周防畑遺跡群 道常遺跡Ⅲ (NSDJⅢ)
佐久市長土呂字道常1248-1外
- 5 調査期間及び面積 期間：平成29年7月21日～平成29年10月20日
面積：1,352㎡
- 6 調査担当者 久保 浩一郎
- 7 本書の編集・執筆は久保が行った。陶磁器類については(財)長野県埋蔵文化財センターの市川隆之氏にご教示いただいた。
- 8 本調査において出土した遺物は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

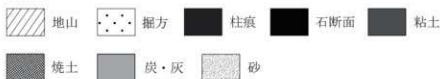
凡例

- 1 遺構の略称は以下のとおりである。
H－竪穴住居址 Ta－竪穴状遺構 F－掘立柱建物址 D－土坑 M－溝址 P－ピット
- 2 遺構断面図の標高は遺構ごとに統一し、スケールバー上に値を示した。
- 3 遺構の計測値は以下の値である。



- 4 スクリーントーンの表示は以下のとおりである。

遺構図



遺物図



- 5 遺物の実測図番号と写真番号は対応し、特に記載のないものは縮尺1/4で掲載した。
- 6 本書で示した方位は真北であり、座標値は世界測地系に準拠している。
- 7 ピット一覧表及び遺物観察表における()は推定値を、〈 〉は残存値を示す。

目次

第Ⅰ章 発掘調査の経過	1
第1節 発掘調査の経緯	1
第2節 調査組織	1
第3節 遺跡周辺の地理的環境	2
第4節 遺跡周辺の歴史的環境	2
第5節 発掘調査の方法	4
第6節 基本層序	4
第7節 遺構・遺物の概要	4
第Ⅱ章 遺構と遺物	7
第1節 竪穴住居址	7
第2節 竪穴状遺構	17
第3節 掘立柱建物址	22
第4節 土坑	27
第5節 溝址	48
第6節 ビット	49
第Ⅲ章 総括	62

挿図目次

第1図 道常遺跡Ⅲ位置図	1	第34図 E20・E21・E22・E23・E24・E25・E26号土坑遺構図	32
第2図 道常遺跡Ⅲ周辺遺跡分布図	3	第35図 D27・D28・D29・D34・D35・D40号土坑遺構図	34
第3図 グリッド設定図	4	第36図 D30・D31・D32・D33・D38・D39・D50・D51号土坑遺構図	35
第4図 基本層序模式図	4	第37図 D36・D37・D61・D62・D63号土坑遺構図	36
第5図 調査区全体図	5	第38図 D41・D42・D43・D44・D46・D47・D48・D49・D52号土坑遺構図	37
第6図 H1号・H2号住居址遺構図	7	第39図 D45号土坑遺構図・遺物実測図	38
第7図 H3号・H4号住居址遺構図・遺物実測図	8	第40図 D53・D54・D67号土坑遺構図・遺物実測図	39
第8図 H8号住居址遺構図	9	第41図 D55・D56・D57・D58・D59号土坑遺構図・遺物実測図	40
第9図 H8号住居址遺物実測図	10	第42図 D60・D64・D65・D66・D68・D69号土坑遺構図	41
第10図 H9号・H11号・H18号住居址遺構図・遺物実測図	11	第43図 D71・D72・D73・D74・D75号土坑遺構図・遺物実測図	43
第11図 H10号住居址遺構図・遺物実測図	12	第44図 D76・D77・D78・D79・D80・D81・D82・D83・D84号土坑遺構図・遺物実測図	44
第12図 H12号住居址遺構図・遺物実測図	13	第45図 D85・D86・D87・D88・D89号土坑遺構図	46
第13図 H13号住居址遺構図・遺物実測図	14	第46図 D90・D91・D92・D93・D96・D97・D98号土坑遺構図	47
第14図 H14号住居址遺構図・遺物実測図	15	第47図 M1・M2・M3・M4号溝址遺構図	48
第15図 H15号住居址遺構図・遺物実測図	15	第48図 調査区分割図1	54
第16図 H16号住居址遺構図	16	第49図 調査区分割図2	54
第17図 H17号住居址遺構図	16	第50図 調査区分割図3	55
第18図 Ta1号竪穴状遺構遺構図・遺物実測図	17	第51図 調査区分割図4	55
第19図 Ta2号竪穴状遺構遺構図・遺物実測図	18	第52図 調査区分割図5	56
第20図 Ta3号竪穴状遺構遺構図	19	第53図 調査区分割図6	57
第21図 Ta3号竪穴状遺構遺構図2・遺物実測図	20	第54図 調査区分割図7	58
第22図 Ta4号竪穴状遺構遺構図	21	第55図 調査区分割図8	59
第23図 Ta5号竪穴状遺構遺構図	21		
第24図 F1号掘立柱建物址遺構図	23		
第25図 F2号掘立柱建物址遺構図	24		
第26図 F3号掘立柱建物址遺構図	25		
第27図 F4号掘立柱建物址遺構図	26		
第28図 F5号掘立柱建物址遺構図	26		
第29図 F6号掘立柱建物址遺構図	27		
第30図 D1・D2・D3・D4・D5・D6・D7号土坑遺構図	28		
第31図 D8・D9号土坑遺構図	29		
第32図 D10・D11・D12・D13・D14・D15号土坑遺構図	30		
第33図 D16・D17・D18・D19号土坑遺構図	31		

表目次

第1表 周辺の主な発掘調査一覧	3
第2表 ビット一覧表1	49
第3表 ビット一覧表2	50
第4表 ビット一覧表3	51
第5表 ビット一覧表4	52
第6表 ビット一覧表5	53
第7表 遺物観察表1	60
第8表 遺物観察表2	61

第1章 発掘調査の経過

第1節 発掘調査の経緯

道常遺跡は、佐久市長土呂に所在する弥生時代から中世までの複合遺跡である（第1図）。本遺跡周辺は、佐久市有数の遺跡密集地域であると同時に、平成9年の北陸新幹線佐久平駅の開業を契機に、近年急速に開発が進んでいる地域である。

本調査区に隣接する東側では、平成21年度から平成24年度まで、区画整理事業に伴う発掘調査が実施されている。本事業対象地内の一部は、このとき発掘調査が行われており、弥生時代から中世までの集落跡が確認されていたため、本事業対象地内にも集落跡が続くと考えられていた。

平成26年12月5日、当時の地権者から佐久市教育委員会に埋蔵文化財発掘調査についての依頼があり、平成27年1月21日・22日に佐久市教育委員会による確認調査が実施され、対象地全域で奈良時代から中世の住居址や土坑が確認された。

今回、株式会社SKYが対象地に高齢者向け住宅の建設を計画したことにより、平成29年5月8日、長野県教育委員会に埋蔵文化財発掘の届出がなされた。平成26年度における確認調査結果に基づき、株式会社SKYと佐久市教育委員会による遺跡の保護協議が行われた結果、遺跡の保存が困難な建物部分、敷地周囲の擁壁設置部分及び道路拡幅部分の1,352㎡について、記録保存を目的とする発掘調査を行うこととなった。



第1図 道常遺跡III位置図

第2節 調査組織

調査受託者	佐久市教育委員会	教育長 棚澤 晴樹
事務局	社会教育部長	荻原 幸一（平成29年度） 青木 源（平成30年度）
	文化振興課長	小林 義夫
	文化振興課企画幹	小林 登志郎（平成29年度） 武者 新一（平成30年度）
	文化財調査係長	大塚 広樹（～平成29年9月） 塩川 宏幸（平成29年10月～）
	文化財調査係	小林 眞寿 富沢 一明 上原 学 荻原 義治（平成30年7月～） 久保 浩一郎 岩下 琴（～平成30年6月）
	臨時職員	森泉 かよ子
	調査担当者	久保 浩一郎
	調査員	赤羽根 篤 赤羽根 充江 浅沼 勝男 甘利 隆雄 岩崎 重子 大矢 志穂 小幡 弘子 木内 修一 小林 妙子 小林 敏雄 堺 益子 清水 律子 田中 ひさ子 中澤 登 橋詰 勝子 橋詰 信子 林 まゆみ 比田井 久美子 堀籠 保子 柳澤 孝子 横尾 敏雄 依田 好行

第3節 遺跡周辺の地理的環境

佐久市は長野県中央東端、群馬県に接し四方を山地・台地に囲まれた標高700m程度の盆地内に位置する。佐久平と呼ばれるこの盆地は、東に佐久山地、北に浅間山、南に蓼科山・八ヶ岳を望み、その中央には千曲川が北流する。千曲川左岸の佐久平南部は蓼科・八ヶ岳から緩やかに伸びる山裾と、そこを流れる小河川により形成された小規模な扇状地及び千曲川の沖積低地が広がっている。一方千曲川右岸の佐久平北部は、約23,000年前と推定される塚原泥流や、約13,000～10,000年前の軽石流など、浅間山の火山噴出物により形成された台地である。佐久市北部にはこの軽石流が河川の浸食をうけて形成された浸食谷、いわゆる「田切り地形」が特徴的に発達しており、田切りの谷に挟まれた台地ごとに、遺跡群が形成されている。

今回発掘調査を実施した道常遺跡周辺は、浅間山麓から帯状に続く田切り台地の末端部に位置する(第2図)。田切り地形における台地と谷の高低差が消失し、濁川の氾濫低地における水田地帯との境界部に位置する。近年急速に宅地化が進んでいるが、第2図の埋蔵文化財包蔵地の空白が示すように、北東から南西に延びる埋設低地が存在している。

第4節 遺跡周辺の歴史的環境

本遺跡周辺では、大規模開発に伴う発掘調査により、豊富な考古資料が得られている。

縄文時代 中部横断自動車道建設に伴う西近津遺跡群(7)の発掘調査で、草創期から後期の土器が出土し、中期後半の住居址が検出されている。また、西近津遺跡Ⅷ(8)では後期の住居址が検出され、土偶や石棒なども出土している。従来、縄文時代の集落は佐久平周辺の山裾に展開していたと考えられていたが、近年の調査成果から本遺跡周辺でも集落が営まれていたことがわかってきている。

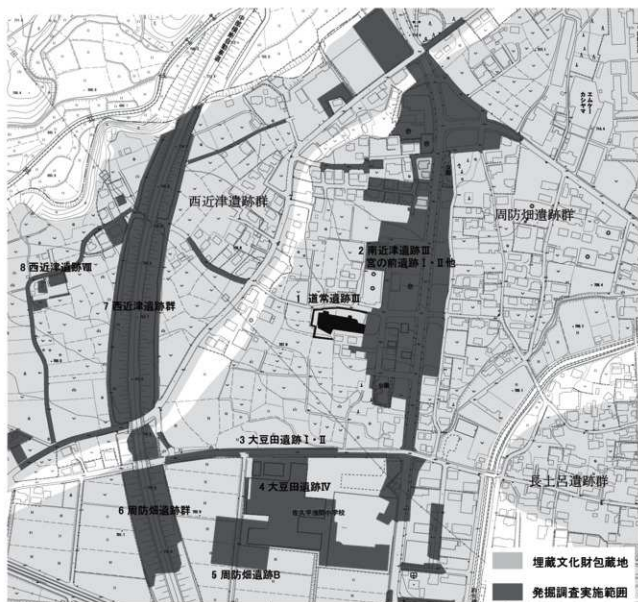
弥生時代 前・中期集落は本遺跡より南側の濁川沿岸に偏って分布しているが、後期には本遺跡周辺に大規模な集落が形成される。濁川の氾濫低地を生産域にしていたと考えられ、南近津遺跡Ⅲ・宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ他(2)、周防畑B遺跡(5)、周防畑遺跡群(6)、西近津遺跡群(7)では、後期の集落と周溝墓などの墓域も確認されている。しかしこれらの集落は弥生時代の終焉とともに断絶する。

古墳時代 古墳時代になると、台地縁部に小規模集落が散見される程度となる。本遺跡周辺でも中期後半までの生活痕跡は希薄となる。中期後半になると再び集落が形成され、これらの集落は平安時代まで継続することが多い。南近津遺跡Ⅲ・宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ他(2)、大豆田遺跡Ⅳ(4)、西近津遺跡群(7)などで、当該期から平安時代まで継続する集落が確認されている。

奈良・平安時代 集落は古墳時代から継続して営まれており、本調査区において本格的な居住の痕跡が認められるのはこの時期からである。本遺跡を含め周辺の発掘調査では布目瓦が一定量出土しており、周辺にその存在が想定される「妙楽寺」に関わるものと考えられる。南近津遺跡Ⅲ・宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ他(2)では、「大井」や「令」などをはじめとする墨書土器、円面硯や帯金具なども出土しており、ある種公的な集落であったことが想定される。しかし、10世紀以降は住居址が減少し、集落が衰退していったと考えられる。

中世 平安末期には、岩村田を中心とした千曲川右岸に八条院領の大井荘があったと考えられ、鎌倉時代になると、小笠原長清の子、朝光が大井荘に土着し大井氏を名乗るようになる。大井氏は岩村田を中心とする佐久北部に勢力を振い、13世紀末には大井光泰が長土呂を知行したといわれる。

南近津遺跡Ⅲ・宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ他(2)及び大豆田遺跡Ⅳ(4)では、中世の堅穴状遺構や井戸址、溝址等が検出されている。これらの調査成果から、本遺跡周辺では中世に大規模な開発が行われたことがわかってきた。本調査区で検出された堅穴状遺構や土坑の多くも、中世の所産と考えられ、周辺における開発の中で、本遺跡も形成されたものと考えられる。



第2図 道常遺跡III周辺遺跡分布図

	遺跡名	検出遺構	報告書
1	道常遺跡III	竪穴住居址15(奈・平)、竪穴状遺構5、掘立柱建物址6、土坑98、溝址4、ピット451	第257集
2	南近津遺跡III 宮の前遺跡I・II他	竪穴住居址512(弥生～平安)、竪穴建物址5、掘立柱建物址182、周溝墓33、土坑402、溝址114、ピット4,922	第198集 第240集
3	大豆田遺跡I・II	竪穴住居址26(弥生～平安)、掘立柱建物址9、土坑34、溝址22	第156集
4	大豆田遺跡IV	竪穴住居址26(弥生～平安)、竪穴建物址3、掘立柱建物址33、土坑139、溝址76、ピット	第229集
5	周防畑B遺跡	竪穴住居址41(弥生～平安)、周溝墓2、土坑17	昭和56年
6	周防畑遺跡群	竪穴住居址92(弥生～平)、掘立柱建物址9、周溝墓15、土坑422	長野県埋蔵文化財センター 103集
7	西近津遺跡群	竪穴住居址548(縄～平)、竪穴建物址4、掘立柱建物址122、周溝墓22、土坑2,474、溝址43	長野県埋蔵文化財センター 104集
8	西近津遺跡Ⅴ	竪穴住居址25(縄～平)、周溝墓3、土坑37、溝址3	第207集

第1表 周辺の主な発掘調査一覧

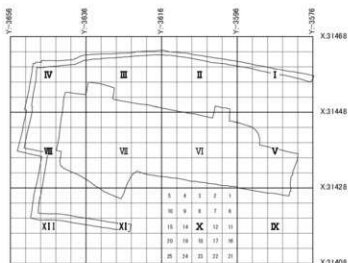
第5節 発掘調査の方法

発掘調査は、平成29年7月21日～平成29年10月20日に実施した。重機により遺構確認面である地山（第4図VI層）上面まで掘削した後、調査区内に国土地理院の平面直角座標系原点第VIII系を基点とするグリッドを設定した（第3図）。調査区北東端のX=31468、Y=-3576を起点とし、ローマ数字名を付した20m四方の大グリッドと、大グリッド内を25分割した4m四方の小グリッドの組み合わせによりグリッド名を付した。

グリッド杭打設後、人力により遺構確認面の精査・遺構検出を行い、遺構外出土遺物はグリッド単位で取上げた。

検出した遺構については、遺構ごとに遺構埋土の土層観察・記録を行いながら掘下げ、完掘後にグリッド杭を用いた簡易遺方測量により平面図を作成した。

写真はデジタル一眼レフカメラによるRAW及びJPEGデータと、35mm一眼レフカメラによるカラーリバーサルフィルムを用いて記録した。



第3図 グリッド設定図

第6節 基本層序

本調査区における基本層序は以下の6層に大別できる。

- I層 ぶい黄褐色土(10YR4/3) 現代の畑耕作土
- II層 灰黄褐色(10YR4/2)～褐灰色土(10YR4/1) 近世以降の耕作土と考えられ、陶磁器片を含む。下位III層との層界は明瞭。
- III層 暗赤褐色土(5YR3/2) 堆積層。対象地西端部で確認される。
- IV層 黒色シルト質土(10YR2/1) 堆積層。対象地西端部で確認される。
- V層 褐色土(7.5YR4/3) IV層からVI層の中間層
- VI層 明黄褐色土(10YR6/6) 浅間第一軽石流の地山層。

調査区西端部を除いて、III～V層は削平されているため、遺構検出はVI層上面で行った。



第4図 基本層序模式図

第7節 遺構・遺物の概要

- 遺構 堅穴住居址15軒(奈良・平安時代)、堅穴状遺構5基(中世)、掘立柱建物址6軒、土坑98基、溝址4条、ピット451基
- 遺物 弥生土器、土師器(甕・坏・皿)、須恵器(壺・甕・坏・坏蓋・有台坏等)、陶磁器(灰釉陶器・古瀬戸・青磁)石器(打製石斧・擦石・蔵石)、石製品(砥石・硯)、鉄製品(角釘・刀子・鎌等)、銅銭、瓦



第5図 調査区全体図

第II章 遺構と遺物

第1節 竪穴住居址

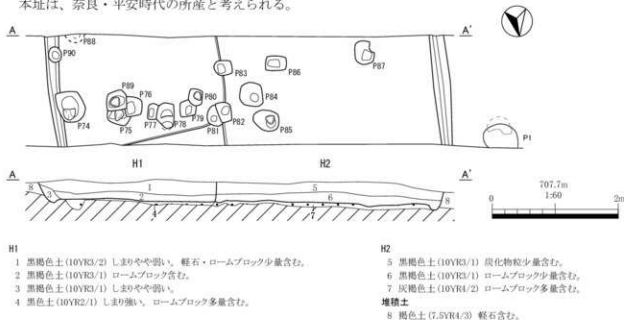
本調査区からは15軒の竪穴住居址が検出された。調査区内で全容を把握できないもの、または出土遺物が少なく時期を特定するのが困難なものもあるが、いずれも奈良・平安時代の所産と考えられる。

H1号住居址（第6図） XI-15グリッドに位置し、H2号住居址より新しく、P74～P83、P89・P90より古い。南北両側が調査区外のため全容は不明だが、東西2.8m、主軸はN-10°-Wである。検出面から床面までの深さは約35cmであり、堅固な床面を有する。堀方は床面より1～16cm深い。ピットは堀方でP88の1基が確認された。遺物はわずかな破片資料のみであるが、弥生土器、土師器、須恵器が出土している。

本址は、奈良・平安時代の所産と考えられる。

H2号住居址（第6図） XII-11グリッドに位置し、H1号住居址、P82～P87より古い。南北両側が調査区外のため全容は不明だが、東西3.7m、主軸はN-9°-Wである。検出面から床面までの深さは約35cmであり、床面はわずかにしめる程度である。堀方は床面から7cm程度深い。遺物はわずかな破片資料のみであるが、弥生土器、土師器、須恵器が出土している。

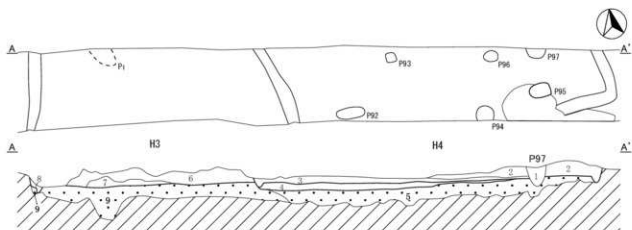
本址は、奈良・平安時代の所産と考えられる。



第6図 H1号・H2号住居址遺構図

H3号住居址（第7図） II-6・7グリッドに位置し、H4号住居址より古い。南北両側が調査区外のため全容は不明だが、東西4.2m以上、主軸はN-1°-Wである。検出面から床面までの深さは約30cmであり、床面はわずかに締まる程度である。堀方は床面より25cm程度深い。ピットは堀方で1基検出された。

遺物は土師器・須恵器・灰釉陶器・鉄製品が出土している。1～4は土師器の坏である。いずれもロクロ整形で、内面には黒色処理が施される。5・6は須恵器の坏である。底部には回転糸切痕を留め、焼成はやや不良である。7は灰釉陶器の碗と考えられる。8～12は土師器の甕であり、口縁部はコの字を呈する。13は須恵器の壺の肩部である。14・15は須恵器の甕の底部と考えられる。16は刀子である。17は鎌である。出土遺物から、本址は9世紀前半の所産と考えられる。



H4

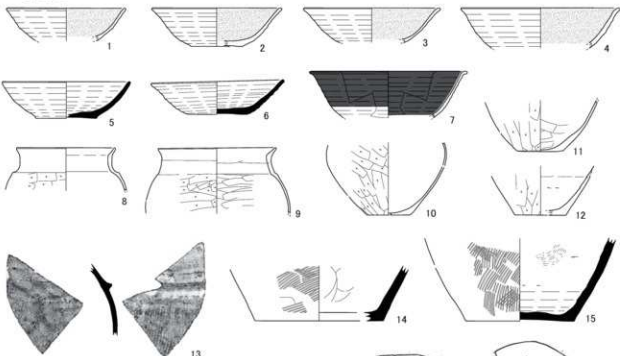
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 軽石含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 軽石・ロームブロック少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/1) 一部しまり強い、ロームを帯状に含む。
- 5 にぶい黄褐色土(10YR6/4) しまり強い、黒褐色土ブロック多量含む。

H3

- 6 褐灰色土(10YR4/1) 軽石・ロームブロック多量含む。
- 7 黒褐色土(10YR3/1) 軽石少量含む。
- 8 黒褐色土(10YR3/1) しまりやや弱い。
- 9 にぶい黄褐色土(10YR6/4) 黒褐色土ブロック多量含む。



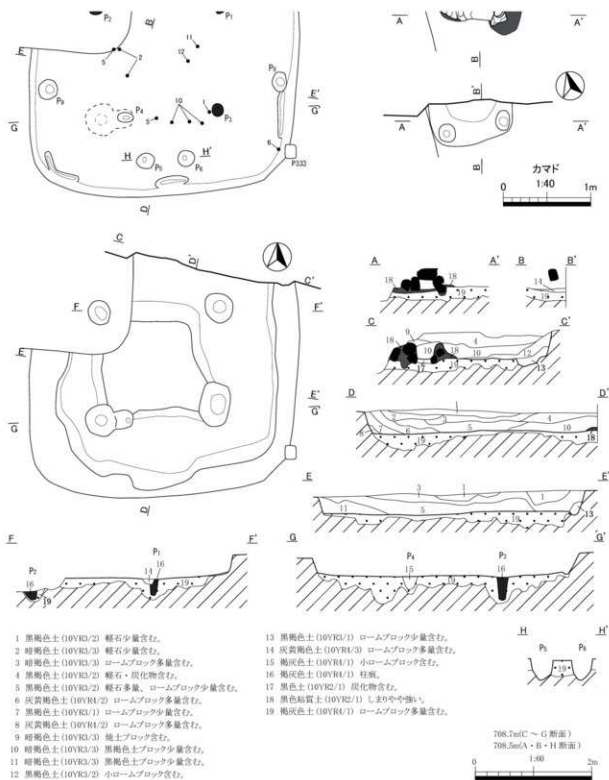
H3 号住居址



H4 号住居址

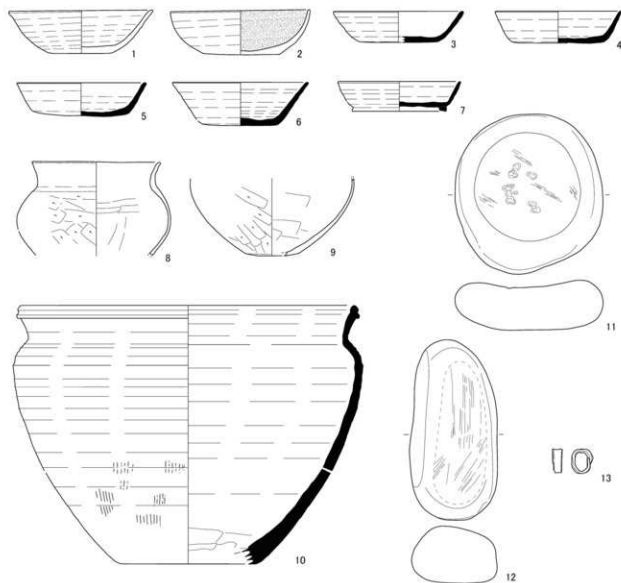


第7図 H3号・H4号住居址遺構図・遺物実測図



- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 軽石少量含む。
- 2 暗褐色土 (10YR3/3) 軽石少量含む。
- 3 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック多量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR3/2) 軽石・炭化物含む。
- 5 黒褐色土 (10YR3/2) 軽石多量、ロームブロック少量含む。
- 6 灰黄褐色土 (10YR1/2) ロームブロック多量含む。
- 7 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック少量含む。
- 8 灰黄褐色土 (10YR1/2) ロームブロック多量含む。
- 9 暗褐色土 (10YR3/3) 埴土ブロック含む。
- 10 暗褐色土 (10YR3/3) 黒褐色土ブロック少量含む。
- 11 暗褐色土 (10YR3/3) 黒褐色土ブロック少量含む。
- 12 黒褐色土 (10YR3/2) 小ロームブロック含む。
- 13 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック少量含む。
- 14 灰黄褐色土 (10YR1/3) ロームブロック多量含む。
- 15 褐色土 (10YR1/1) 小ロームブロック含む。
- 16 褐色土 (10YR1/1) 柱頭。
- 17 黒色土 (10YR2/1) 炭化物含む。
- 18 黒色粘質土 (10YR2/1) しまりや強い。
- 19 褐色土 (10YR1/1) ロームブロック多量含む。

第 8 図 H8 号住居址遺構図



第9図 H8号住居址遺物実測図

H4号住居址（第7図） I - 10グリッドに位置し、H3号住居址より新しく、P92～P97より古い。南北両側が調査区外のため全容は不明だが、東西5.2m、主軸はN-15°-Wである。検出面から床面までの深さは約25cmであり、堅固な床面を有する。一度床を張り直したと考えられ、4層上面も一部が堅く締まる。堀方は床面より20cm程度深い。

遺物は、土師器・須恵器・鉄製品が出土している。1は土師器の坏、2は土師器の碗であり、いずれも内面には黒色処理が施される。3は須恵器の坏であるが、焼成不良である。4は須恵器の有台坏である。5は器種は不明だが須恵器と考えられる。外面に幾何学的な文様がみられる。6は棒状の鉄製品であり、釘と考えられる。本址は9世紀代の所産と考えられる。

H8号住居址（第8図、第9図） VI - 4グリッドに位置し、Ta5号堅穴状遺構より古い。北側が調査区外に延びるが、カマドが検出されていることからほぼ全体が検出されていると考えられる。長軸4.6m、短軸は推定で4.2m、床面積は推定16.3㎡の規模を有し、主軸はN-2°-Wである。検出面から床面までの深

さは約35cmで、堅固な床面を有する。堀方は床面よりも6cm～30cm程度深く、中央と壁際が高く掘り残される。カマドは煙道部分が調査区外であるが、北側中央に位置し、袖部分は黒褐色の粘質土と方形に整形された礎で構築されている。ピットは9基確認され、P1～P3では柱痕が認められる。P5・P6は出入口施設に伴うものと考えられる。

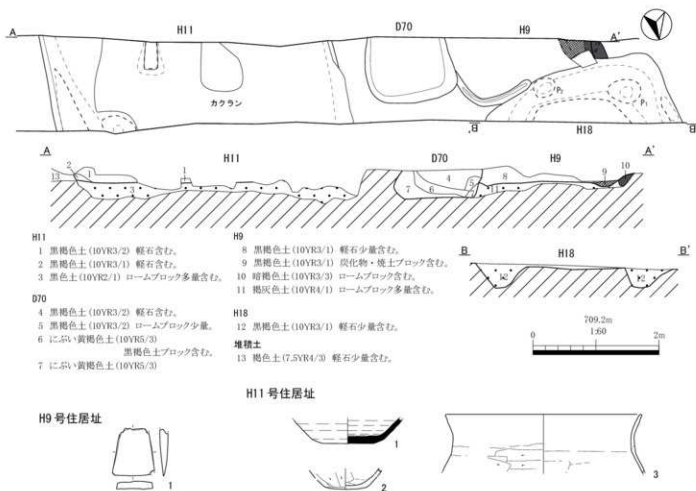
遺物は土師器・須恵器・石器・鉄製品が出土しており、3と9を除いて床面上で出土したものである。1・2は土師器の坏である。2は内面黒色処理が施される。3～6は須恵器の坏で、6は焼成不良である。7は須恵器の有台坏である。8・9は土師器の甕である。10は図面上で復元した固体だが、須恵器の甕と考えられる。11は凹石、12は擦石である。13は環状の鉄製品だが、刀子などの留金具の可能性が考えられる。

出土遺物から、本址は8世紀後半の所産と考えられる。

H9号住居址（第10図） I-13グリッドに位置し、H18号住居址及びD70号土坑より古い。住居址北東部分のみの検出であり、南西側は調査区外に延びる。主軸はN-10°-Wである。検出面から床面までの深さは25cm程度で、床面はわずかに締まる程度である。堀方は床面より15cm程度深い。カマドはカクランにより一部が破壊されているが、北側中央に位置すると考えられる。

遺物は弥生土器・須恵器・鉄製品が出土したが、いずれも小破片である。1は基部側が欠損しており内容は不明だが、小型の刃器ではないかと考えられる。

本址は、奈良・平安時代の所産と考えられる。



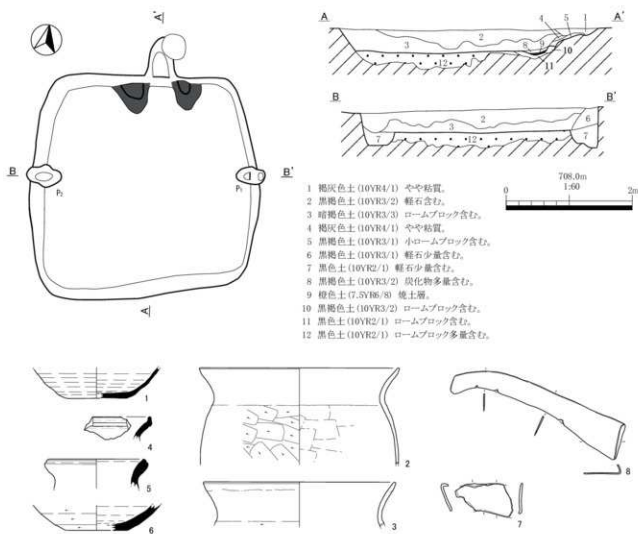
第10図 H9号・H11号・H18号住居址遺構図・遺物実測図

H10号住居址（第11図）Ⅶ-12・13グリッドに位置する。長軸4.1m、短軸3.8m、床面積11.8㎡、主軸はN-10°-Wである。検出面から床面までの深さは約35cmであり、床面はわずかに堅い。壁はほぼ垂直に立上るが、南側のみやや緩やかに立上る。壁溝は検出されなかった。堀方は床面より20cm程度深い。カマドは北側中央に位置し、袖部は褐灰色の粘質土で構築される。ピットは中央両端に位置する2基が確認された。柱痕は認められなかったが、柱穴と考えられる。

遺物は土師器・須恵器・鉄製品が出土した。1は須恵器の坏で、底部はヘラ切り後にナデ調整が施される。2・3は土師器の甕である。4～6は須恵器の壺ないし甕と考えられる。7・8は鎌であるが、欠損後に一部が折れ曲がっている。本址は8世紀後半の所産と考えられる。

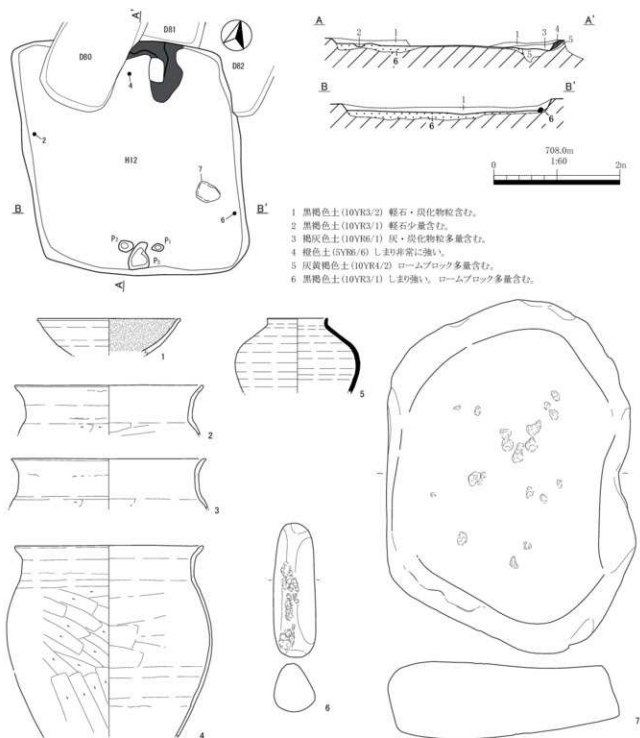
H11号住居址（第10図）Ⅰ-12グリッドに位置し、南北両側が調査区外に延びる。中央部分がカクランを受けており、床面がほとんど残っていないため、東側の上端と西側の上端の一部及び堀方のみを検出である。東西4.6m、主軸はN-2°-Wである。残存する床面は硬くしまる。

遺物は堀方からの出土であるが、土師器・須恵器が出土している。1は須恵器の坏であり、底部には回転糸切り痕が認められる。2・3は土師器の甕である。本址は、奈良・平安時代の所産と考えられる。



第11図 H10号住居址遺構図・遺物実測図

H12号住居址（第12図） VII-4グリッドに位置し、D71・D80～82号土坑より古い。長軸3.7m、短軸3.4m、床面積10.6㎡の規模を有し、主軸はN-12°-Wである。検出面から床面までの深さは18cmで、堅固な床面を有する。堀方は床面から3～10cm程度深い。ピットは入り口施設に伴うものと考えられる3基が確認された。カマドは北側中央に位置し、D71・D80・D81号土坑により一部が破壊される。裾部は褐灰色粘質土により構築される。

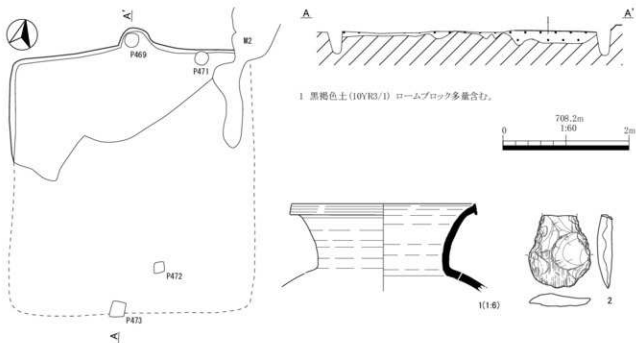


第12図 H12号住居址遺構図・遺物実測図

遺物は土師器・須恵器・石器が出土した。1は土師器の碗で、内面黒色処理が施される。2～4は土師器の甕である。5は須恵器の壺である。6・7は床面から出土した石器で、6は敲石、7は台石と考えられる。本址は9世紀前半の所産と考えられる。

H13号住居址（第13図）Ⅲ-25グリッドに位置する。上部がほとんど削平されており、北側の一部に床面を残すのみであるが、堀方の規模から長軸4.5m、短軸3.8m、床面積15.2㎡と推定され、主軸はN-11°-Wである。堀方は床面から5～20cm深い。ピットは検出されなかった。カマドもすでに削平されているが、堀方の形状から北側の中央に配置されていたと考えられる。

遺物は須恵器と石器が出土している。1は須恵器の甕の口縁部と考えられる。2は打製石斧の刃部である。本址は奈良・平安時代の所産と考えられる。



第13図 H13号住居址遺構図・遺物実測図

H14号住居址（第14図）Ⅶ-15グリッドに位置し、H15号住居址より新しい。上部が削平されており、検出面がほぼ床面であった。長軸4.5m、短軸4.0m、床面積17.2㎡と推定され、主軸はN-6°-Wである。床面はわずかに締まる程度であり、堀方は床面から15cm程度深い。ピットは床面で3基確認でき、P1では柱痕が確認できた。P2、P3は入口施設に伴うピットと考えられる。P4～P6は床面で確認できなかったが、柱穴の堀方と考えられる。カマドは北側中央に位置し、袖は灰黄褐色土で構築される。

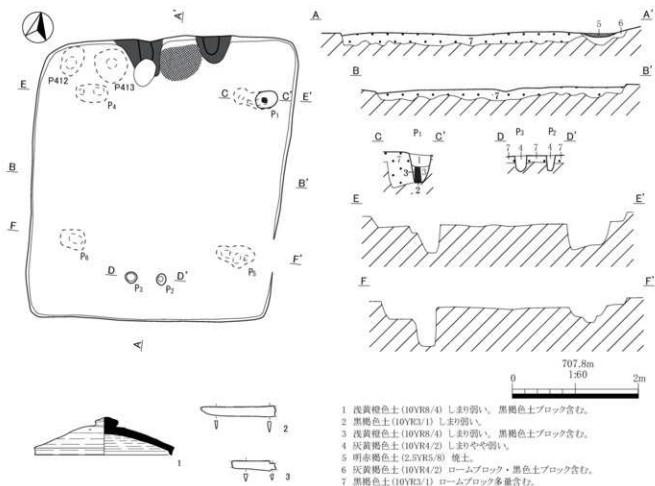
遺物は須恵器と鉄製品が出土した。1は須恵器の坏蓋である。2・3は鉄製の刀子と考えられる。

本址は奈良・平安時代の所産と考えられる。

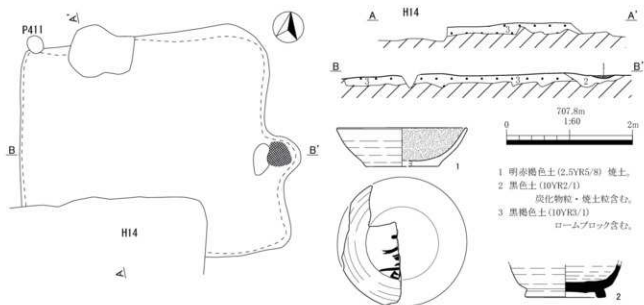
H15号住居址（第15図）Ⅶ-10グリッドに位置し、H14号住居址より古い。上部が削平されており、検出面がほぼ床面であった。長軸4.4m、短軸3.6m、床面積14.0㎡を有し、主軸はN-78°-Eである。締まった床面はほとんど認められず、堀方は床面より15cm程度深い。ピットは確認されなかった。カマドは東側中央に位置する。カマドもほとんどが削平されており、わずかに焼土が認められるのみである。

遺物は土師器と須恵器が出土した。1は土師器の坏で、判読できないが底部に墨書が認められる。2は須恵器の有台坏で、底部には回転糸切痕を留める。

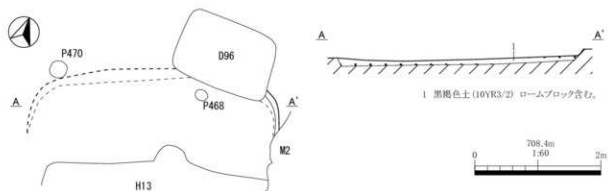
本址は奈良・平安時代の所産と考えられる。



第 14 図 H14 号住居址遺構図・遺物実測図

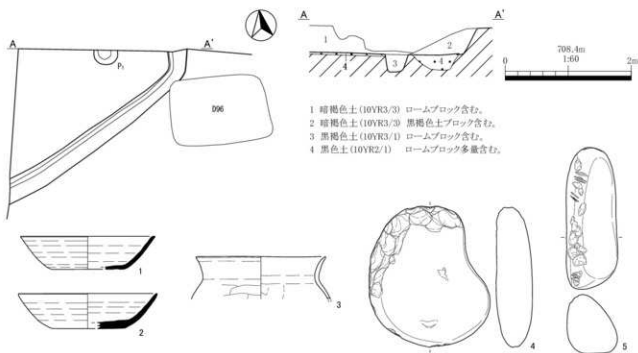


第 15 図 H15 号住居址遺構図・遺物実測図



第16図 H16号住居址遺構図

H16号住居址（第16図） III-20グリッドに位置し、H13号住居址、D96号土坑、P468より古い。床面を含めほとんどが削平されており、堀方の一部のみの検出であるが、堀方埋土の状況から住居址と判断した。東西3.9mを測り、主軸はN-15°-Wである。カマドやピットは検出されなかった。遺物は出土していない。



第17図 H17号住居址遺構図

H17号住居址（第17図） III-20グリッドに位置し、D96号土坑より古い。大半が調査区外であり、南東部分のみの検出である。検出面から床面までの深さは40cm程度で、床面はわずかに締まる程度である。堀方は床面より5～25cm程度深く、壁隙を深く掘り込んでいる。ピットは1基検出された。

遺物は土師器・須恵器・石器が出土している。1・2は須恵器の坏である。1は底部に回転ヘラ切り痕が残る。2は焼成不良である。底部にはヘラナデによる調整が施される。3は土師器の甕である。4・5は敲石である。本址は奈良・平安時代の所産と考えられる。

H18号住居址（第10図） I-14グリッドに位置し、H9号住居址より古い。北側過半が調査区外であり、

床面を含めほとんどが削平されているため、南側堀方のみを検出である。堀方は4～37cmの深さで、壁際を深く掘り込んでいる。ピットは堀方で2基確認された。遺物は出土しなかった。

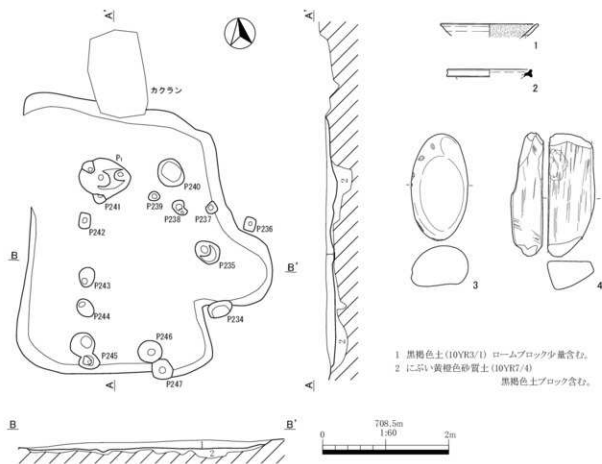
第2節 堅穴状遺構

本調査区においては、中世以降の所産と考えられる方形や長方形の掘り込みが多数検出されている。その中で長軸が3m以上のものを堅穴状遺構とした。ここで堅穴状遺構とした5基の中で、Ta3・4・5については、発掘調査時に堅穴住居址(H5・6・7号住居址)として記録を作成したものであるが、中世の所産と判断し、堅穴状遺構として報告する。なお、同様の遺構について「堅穴建物址」と呼称する場合もあるが、周辺の調査区と名称を統一するため堅穴状遺構とした。

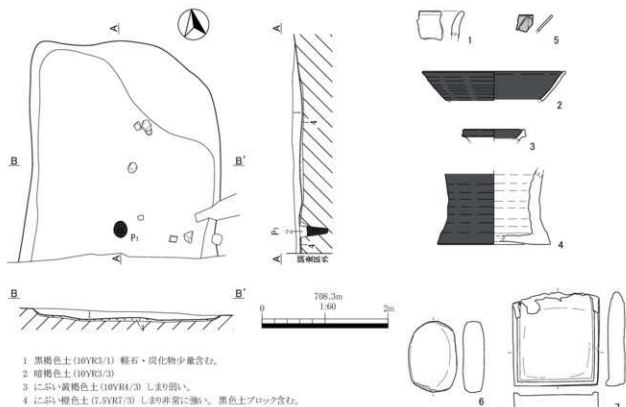
Ta1号堅穴状遺構 (第18図) VI-13グリッドに位置し、F4号掘立柱建物址及びP234～P247より古い。東側中央部分が張り出す不整形方形を呈し、長軸4.2m、短軸3.1mを測り、主軸はN-11°-Eである。堅く締まった床面は確認できないが、土層堆積から2層上面がなんらかの使用面であったと捉えられ、検出面からの深さは12cm程度である。ピットは中央北側に1基確認された。

遺物は1層から土師器・須恵器・石器が出土した。1は土師器の坏で、内面黒色処理が施される。2は須恵器の長頸瓶である。3は敲石、4は砥石である。土師器・須恵器については混入品と考えられる。

本址は中世の所産と考えられる。



第18図 Ta1号堅穴状遺構遺構図・遺物実測図



- 1 黒褐色土(10YR3/1) 軽石・炭化物少量含む。
 2 暗褐色土(10YR3/3)
 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまり強い。
 4 にぶい橙土(7.5YR7/3) しまり非常に強い。黒色土ブロック含む。

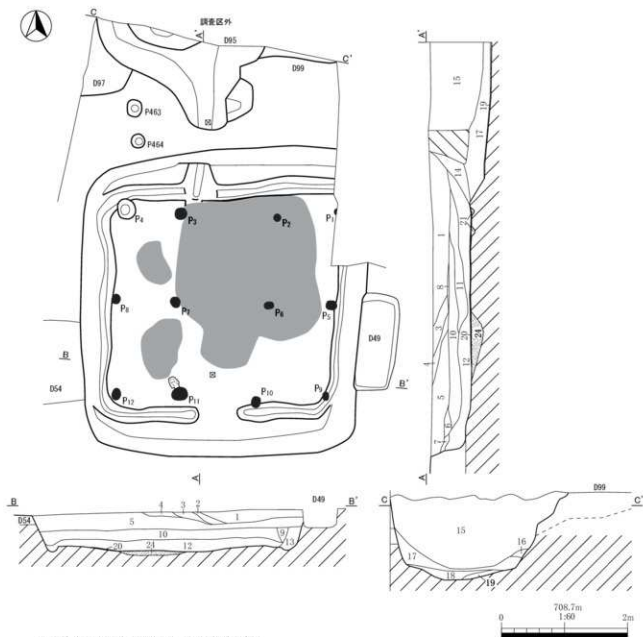
第19図 Ta2号堅穴状遺構遺構図・遺物実測図

Ta2号堅穴状遺構 (第19図) VI-20グリッドに位置し、P344～P352より古く、南側が調査区外に延びる。長方形を呈すると考えられるが、北東部分が丸く、立上りが緩やかである。長軸3.2m以上、短軸3.0mを測り、主軸はN-12°-Eである。堅固な床面を有し、床面が壁に沿って緩やかに立上る。検出面から床面までの深さは10～15cm程度で、堀方は床面より4cm程度深い。ピットは中央付近に1基検出され、住痕も確認された。

遺物は土師器・灰軸陶器・石製品などが出土した。1は土師器の甕の口縁部である。混入品と考えられる。2・3は灰軸陶器である。2は碗で、体部の張りが弱く直線的に開く形状である。3は長頸瓶の口縁部と考えられる。4は古瀬戸の瓶子である。平底で胴部下端が面取りされ、くびれのある縮腰形を呈する。13世紀後半の所産と考えられる。5は青磁の蓮弁碗である。6は敲石である。左右側面に敲打痕、上下両面に擦痕が認められる。7は石製の硯である。溝部分が欠損しているが、全面とも平滑に研磨されている。裏面にはノミ状の工具によるハツリ痕が認められる。

本址は出土遺物から13世紀後半～14世紀の所産と考えられる。

Ta3号堅穴状遺構 (第20図、第21図) 調査時はH5号住居居として記録したが、中世の遺構と判断し、堅穴状遺構とした。VI-1・2グリッドに位置し、Ta4号堅穴状遺構・D54号土坑より新しく、D49号土坑より古い。南側の方形の堅穴とD95号土坑とした北側の掘り込みが地下で繋がっており、北側は調査区外に延びる。遺構全体を人為的に埋め戻したような堆積が認められる。南側の方形部分は長軸4.9m、短軸4.5m、主軸はN-3°-Eである。明確な床面と捉えられる堅く締まった面は確認できず、堀方も認められないが、底面上で灰層(20層)が認められる。検出面から底面までの深さは60cm程度で、壁がほぼ垂直に立上り、南側中央を除いて壁溝が廻る。溝は北側中央でトンネル状にD95号土坑へ続く。また、遺構中央部の灰層下位にも、北側中央部に集約するように溝が認められる。

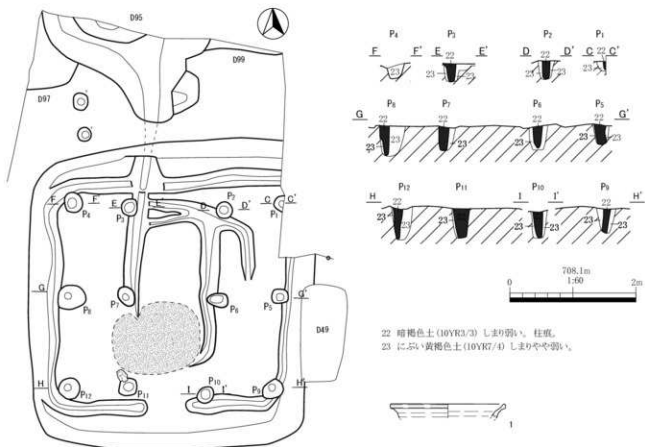


- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石・小ロームブロック多量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 軽石少量含む。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR6/4) 黒褐色土ブロック含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/1) 軽石含む。
- 5 黒褐色土(10YR3/2) 軽石多量含む。
- 6 暗褐色土(10YR3/3) にぶい褐色土含む。
- 7 黒褐色土(10YR3/2) 軽石含む。
- 8 灰の堆積
- 9 にぶい褐色土(10YR7/3)
- 10 黒褐色土(10YR3/2) 軽石・小ロームブロック多量含む。
- 11 褐色土(10YR5/1) 軽石・黒褐色土ブロック多量含む。
- 12 黒褐色土(10YR3/1) 軽石少量含む。

- 13 にぶい褐色土(7.5YR7/3) 黒褐色土ブロック少量含む。
- 14 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック多量含む。
- 15 暗褐色土(10YR3/3) 軽石・ロームブロック少量含む。
- 16 にぶい褐色土(7.5YR7/4) 黒褐色土ブロック少量含む。
- 17 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック含む。
- 18 暗灰色砂質土(10YR4/1) しまりやや強い。
- 19 明黄褐色シルト質土(10YR7/6) しまりやや強い。
- 20 灰の堆積
- 21 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック含む。
- 24 暗灰色砂(10YR4/1) しまりやや強い。

第 20 図 Ta3 号堅穴状遺構遺構構造

ピットは南側方形部分で 12 基検出された。桁行 2 間、梁行 3 間の総柱状に配置されており、柱痕も確認できる。柱間は 95cm ~ 150cm、柱痕の深さは 12cm ~ 46cm である。北側の D95 号土坑は D97・99 号土坑より新しく、検出範囲では不整形である。南側の方形部分より一段低く、底面は U 字に窪む。検出面から底



第21図 Ta3号竪穴状遺構構造図2・遺物実測図

面までの深さは1.2mで、垂直に近い角度で立上る。検出面より上位がカクランを受けているため、本来の掘り込みはさらに深いと考えられる。

遺物は埋土から弥生土器・土師器・須恵器・古瀬戸などが出土しているが、ほとんどが混入品と考えられる小破片である。1は古瀬戸の折縁小皿の口縁部であり、埋土から出土した。13世紀に比定される。

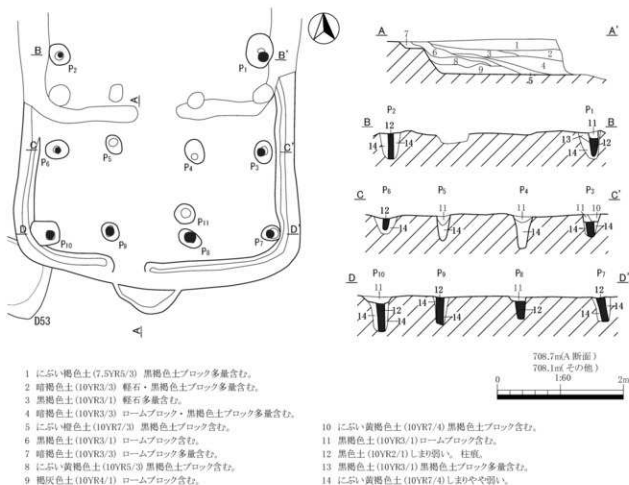
本址の帰属時期については、埋土から出土した古瀬戸の年代から、13世紀～14世紀の所産と考えたい。規則的な柱穴が配置されることから、何らかの建物址であると考えられるが、地下で土坑と繋がる形態は佐久市内では類例がない。南側の方形部分が母屋で、北側の土坑は何らかの付属施設と捉えられる。地下部分は人が通れるほどの広さではないため、排水等のための施設であろうか。

Ta4号竪穴状遺構（第22図） VI-6・7グリッドに位置し、Ta3号竪穴状遺構より古く、D50・53号土坑より新しい。調査時は116号住居址として記録したが、中世の遺構と判断し、竪穴状遺構とした。Ta3号竪穴状遺構と一部重なり、掘り込みの深さもほぼ同じであるため、建替えが行われたと考えられる。東西4.3m、南北3.6m以上、主軸はN-3°-Eであり、南側中央に張り出し部が認められる。明確な床面や堀方は確認できない。検出面から底面までの深さは60cm程度で、壁がほぼ垂直に立上り、南側中央を除いて壁溝が廻る。

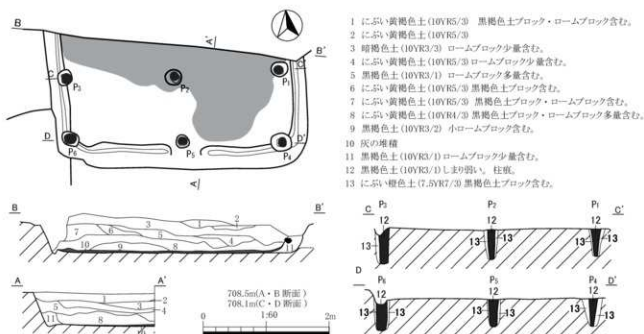
ピットは10基確認された。桁行2間、梁行3間の総柱状に並び、柱痕も認められるが、北側列の中央には配置されない。柱間は90cm～156cmで、深さは9cm～51cmである。

遺物は埋土から弥生土器・土師器・須恵器の小破片が出土したが、いずれも混入品と考えられる。

本址は形態や重複の状況から、Ta3号竪穴状遺構の直前と考えられる。



第22図 Ta4号竪穴状遺構遺構図



第23図 Ta5号竪穴状遺構遺構図

Ta5号竪穴状遺構（第23図）VI-4・5グリッドに位置し、北側が調査区外に延びる。H8号竪穴住居址より新しい。調査時はH7号住居址として記録したが、中世の遺構と判断し、竪穴状遺構とした。東西4m、南北2.1m以上で、主軸はN-4°-Eである。明確な床面や堀方は確認できないが、底面上に3cm程度の厚さで灰層（10層）が認められ、東側の壁際ではこの灰層がわずかに立上る。検出面から底面までの深さは60cm程度で、壁がほぼ垂直に立上り、南側中央を除いて溝溝が廻る。

ピットは灰層を切る形で6基が確認された。桁行は不明、梁行は2間である。柱間は1m～1.8mで、深さは42～55cmである。

遺物は土師器と須恵器の破片が出土しているが、混入品と考えられる。

本址は形態的特長がTa3・4号竪穴状遺構に類似することから、同時期と捉え、13～14世紀代と考えたい。

第3節 掘立柱建物址

柱穴と考えられる同規模のピットが規則的に並ぶものを掘立柱建物址と捉え、6軒を検出した。いずれも調査区中央より東側に位置する。規模や柱穴の配置などはそれぞれの建物で異なるが、概ね長方形を呈する。掘立柱建物址からの出土遺物は、混入品と考えられる土器片がほとんどであり、遺物から遺構の帰属時期を特定するのは困難である。しかし、周辺での調査成果、柱穴の形状や主軸方向などから、奈良・平安時代の所産と考えられる。

なお、掘立柱建物址の上屋構造や出入口の位置などは不明だが、本稿では長軸方向を桁行、短軸方向を梁行とした。

F1号掘立柱建物址（第24図）V-19～25グリッドに位置し、D22・D24号土坑より古い。南西側の柱穴が調査区外となり検出できなかったが、桁行3間、梁行2間の側柱建物と考えられる。検出された柱穴は9基で、柱穴は円形ないし隅丸方形を呈し、柱痕を留めるものもある。規模は桁行5.5m、梁行4.2m、面積23.1㎡を測り、主軸はN-72°-Eである。柱間は桁行では1.3～1.4mまたは2.6～2.7mで、中央が広がる。梁行では概ね2.1mである。柱穴の深さは28～65cmである。

遺物は出土していない。本址は、柱穴の形状や主軸方向から、奈良・平安時代と考えられる。

F2号掘立柱建物址（第25図）VI-9～15グリッドに位置し、D46・D47号土坑より古い。桁行2間、梁行2間の総柱建物である。9基の柱穴はいずれも方形で、長軸が1m前後と比較的大きく、各柱穴の規模や配列が整然としている。P1・P3・P4・P7・P8・P9では柱痕が確認でき、いずれも柱穴のほぼ中央に位置している。規模は桁行4.5m、梁行3.5m、面積15.8㎡を測り、主軸はN-14°-Wである。柱間は桁行で2.0～2.4m、梁行で1.7～1.9m、柱穴の深さは55～70cmである。

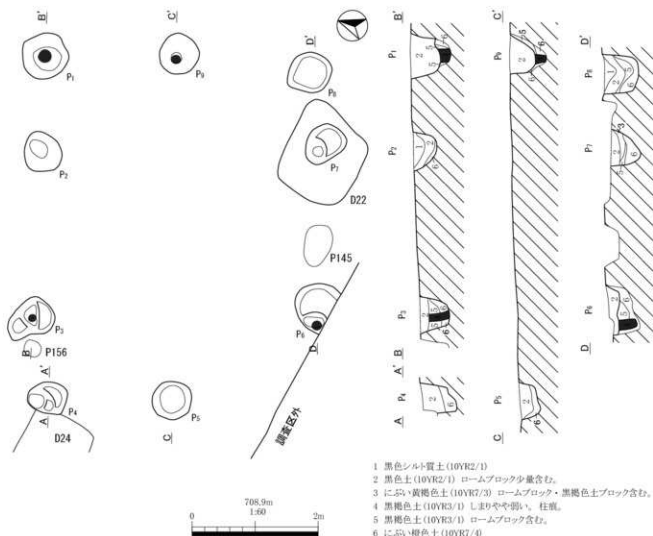
遺物はP6から鉄製品が出土している。1は両端部が欠損しているが、角釘と考えられる。

本址は主軸方向や周辺調査区での検出例から、奈良・平安時代の所産と考えられる。

F3号掘立柱建物址（第26図）VI-5～VII-16グリッドに位置し、D69号土坑より古い。桁行3間、梁行1間の側柱建物である。8基の柱穴は方形ないし不整形で、P2とP3は浅い溝で繋がる。P1・P5・P6・P8では柱痕が確認できる。規模は桁行5.9m、梁行4.4m、面積25.9㎡を測り、主軸はN-9°-Wである。柱間は桁行で1.6～2.2m、梁行で4.1～4.4m、柱穴の深さは30～52cmである。

遺物はP3から縄文土器と考えられる破片が出土したが、混入品と考えられる。

本址は、柱穴の形状や主軸方向から、奈良・平安時代と考えられる。



第24図 F1号掘立柱建物址遺構図

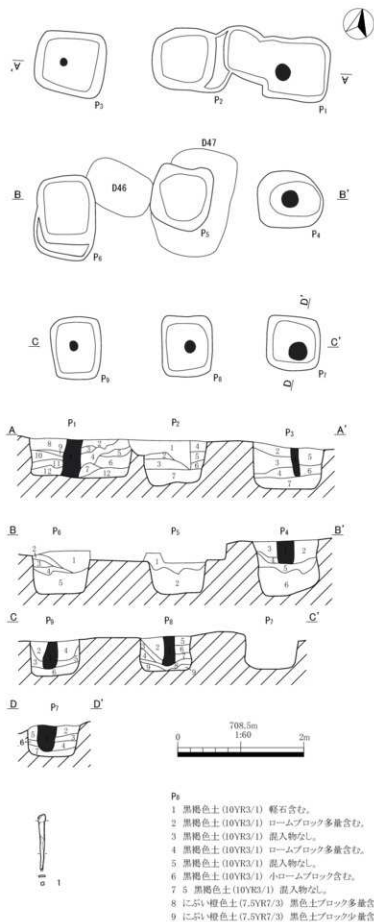
F4号掘立柱建物址（第27図）VI-18～24グリッドに位置し、Ta1号堅穴状遺構・P294・P300より古い。P245・P284・P292・P295・P302・P313により構成される、桁行1間、梁行2間の側柱建物である。規模は桁行2.9m、梁行2.5m、面積7.3㎡を測り、主軸はN-17°-Wである。柱間は桁行で2.8～2.9m、梁行で1.1～1.4mであり、柱穴の深さは26～35cmである。柱穴は不整形であり、埋土は黒褐色土を基調とし、軽石等を含む。

遺物は出土していないが、柱穴の形状や主軸方向から、奈良・平安時代の所産と考えられる。

F5号掘立柱建物址（第28図）V-22～XI-2グリッドに位置し、D10・D11号土坑より古い。P99・P113・P114・P135・P136により構成される。東側が調査区外に伸び、南側にも伸びる可能性がある。規模は桁行3.6m、梁行3.3mを測り、主軸はN-64°-Eである。柱間は桁行で3.6m、梁行で1.2～2.0mであり、柱穴の深さは55～71cmである。柱穴の形状は隅丸方形・楕円形・不整形と様々で、埋土は黒褐色土やぶい黄褐色土などである。

P135から土師器と須恵器が出土している。1は須恵器の坏蓋である。2は土師器の甕の底部である。

出土遺物から、本址は平安時代の所産と考えられる。



第 25 図 F2 号掘立柱建物址遺構図

- P₁**
- 1 黒褐色土 (10YR3/1) しまりや弱い。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 4 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 - 5 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 - 6 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック多量含む。
 - 7 灰黄褐色土 (10YR4/2) ロームブロック多量含む。
 - 8 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 - 9 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 10 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 - 11 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 12 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック少量含む。

- P₂**
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 軽石含む。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/2) 小ロームブロック少量含む。
 - 4 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 5 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 - 6 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック少量含む。
 - 7 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック少量含む。

- P₃**
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 軽石含む。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/1) 小ロームブロック多量含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック少量含む。
 - 4 灰黄褐色土 (10YR4/2) ロームブロック・黒褐色土ブロック含む。
 - 5 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 - 6 灰黄褐色土 (10YR4/2) ロームブロック多量含む。
 - 7 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック含む。

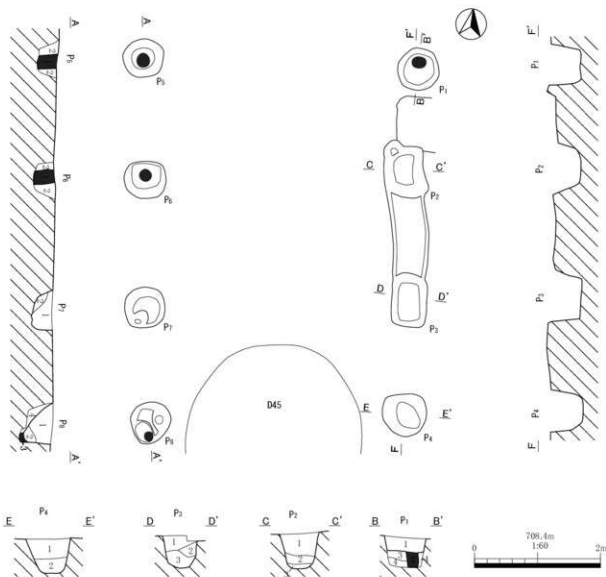
- P₄**
- 1 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石含む。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/1) 小ロームブロック少量含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 - 4 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 5 黒褐色土 (10YR3/2) 小ロームブロック多量含む。
 - 6 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック含む。

- P₅**
- 1 黒褐色土 (10YR3/1) 小ロームブロック少量含む。
 - 2 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック含む。

- P₆**
- 1 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石含む。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック少量含む。
 - 4 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック含む。
 - 5 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック含む。

- P₇**
- 1 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石含む。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 4 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック多量含む。
 - 5 黒褐色土 (10YR3/1) 小ロームブロック少量含む。
 - 6 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック多量含む。
 - 7 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック含む。

- P₈**
- 1 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石含む。
 - 2 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック多量含む。
 - 3 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック少量含む。
 - 4 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック多量含む。
 - 5 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。
 - 6 におい・橙色土 (7.5YR7/3) 黒色土ブロック含む。



P1

- 1 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや弱い、軽石少量含む。柱痕。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR3/2) ロームブロック多量含む。

P2

- 1 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 2 褐灰色土 (10YR4/1) ロームブロック多量含む。
- 3 にぶい黄褐色土 (7.5YR7/3) しまり弱い。

P3

- 1 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石・小ロームブロック含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。

P4

- 1 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。

P5

- 1 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや弱い、軽石含む。柱痕。
- 2 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石少量含む。

P6

- 1 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや弱い、軽石含む。柱痕。
- 2 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石少量含む。

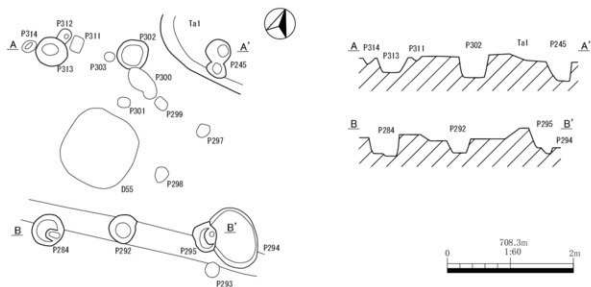
P7

- 1 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 2 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ロームブロック多量含む。

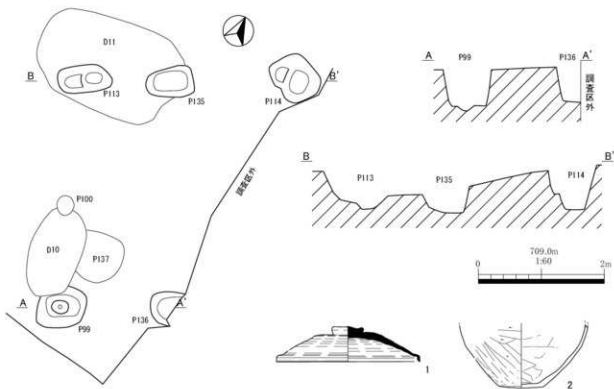
P8

- 1 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 2 黒褐色シルト質土 (10YR3/1) 灰黄褐色砂質土ブロック含む。
- 3 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや弱い、軽石含む。柱痕。
- 4 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ロームブロック多量含む。

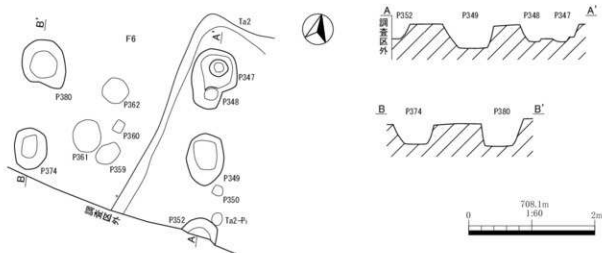
第 26 図 F3 号掘立柱建物址遺構図



第 27 图 F4 号掘立柱建物址遺構図



第 28 图 F5 号掘立柱建物址遺構図



第29図 F6号掘立柱建物址遺構図

F6号掘立柱建物址（第29図）VI-20～VII-21グリッドに位置し、Ta2号堅穴状遺構より古い。南側が調査区外に延びるため全容は不明だが、P347・P349・P352・P374・P380により構成され、桁行2間以上、梁行1間の側柱建物と考えられる。規模は桁行2.7m以上、梁行2.7mを測り、主軸は $N-9^{\circ}-W$ である。柱間は桁行で1.2～1.4m、梁行で2.7mであり、柱穴の深さは23～43cmである。柱穴は不整楕円形で、埋土は黒褐色土やにぶい橙色土である。

遺物は出土していないが、柱穴の形状や主軸方向から、奈良・平安時代の所産と考えられる。

第4節 土坑

長軸が1mを超えるものを土坑としてピットと区別した。土坑は98基検出され、調査区全域に分布する。方形・長方形を呈するものが主体だが、円形・楕円形のものもあり、多くは人為的に埋め戻されたような埋土である。遺物が伴うものはわずかで、土坑ごとの帰属時期を判断するのは困難であるが、形状や埋土等の特徴、わずかに出土する銅銭や青磁などから、中世の所産と考えられる。

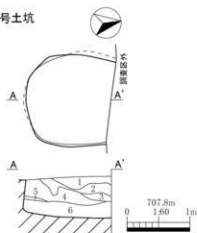
D1号土坑（第30図）XI-13グリッドに位置し、北側が調査区外に延びる。円形に近い隅丸方形を呈し、東西1.45m、南北1.37m以上、主軸は $N-17^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.65mで、断面はフラスコ状を呈する。

D2号土坑（第30図）XII-4グリッドに位置し、北西側がわずかに調査区外に延びる。不整円形を呈し、長軸1.06m、短軸0.83m、主軸は $N-15^{\circ}-W$ である。検出面からの深さ0.15mを測り、断面は浅いU字形である。

D3号土坑（第30図）VIII-14グリッドに位置し、北側が調査区外に延びる。東西2.29m、南北0.58m以上、主軸は $N-13^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.56mを測り、埋土中に角礫を数点含む。断面は浅いU字形である。

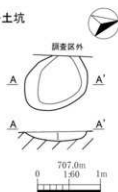
D4号土坑（第30図）IV-6グリッドに位置し、P29より古い。南北両側がわずかに調査区外に延びる。隅丸長方形を呈し、長軸1.36m以上、短軸1.45m、主軸は $N-6^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.23mを測り、断面は逆台形である。

D1 号土坑



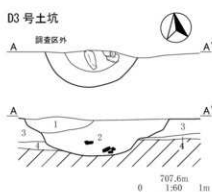
- 1 褐色土 (7.5YR4/3) 炭化物粒含む。
- 2 黒色土 (7.5YR2/1) 炭化物粒含む。
- 3 黒褐色土 (7.5YR3/1) ロームブロック少量含む。
- 4 にぶい赤褐色土 (5YR5/3) 黒色土ブロック少量含む。しまり弱い。
- 5 黒色土 (7.5YR2/1) 混入物なし。
- 6 にぶい赤褐色土 (5YR5/3) しまりやや強い。

D2 号土坑



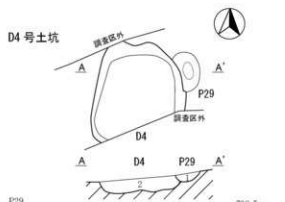
- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 灰色土ブロック含む。

D3 号土坑



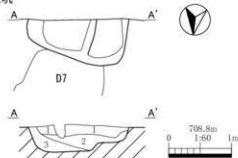
- 1 黒褐色土 (7.5YR3/1) しまり弱い。
- 2 灰褐色土 (7.5YR4/2) 軽石少量含む。

D4 号土坑



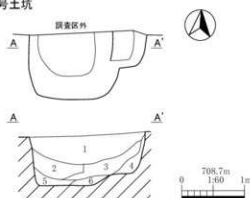
- 1 黒褐色土 (10YR3/2)
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) 褐色土ブロック含む。

D6 号土坑



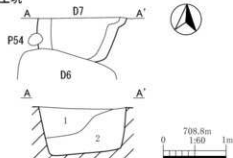
- 1 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 黒褐色土ブロック含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) にぶい黄褐色土ブロック含む。
- 3 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 軽石含む。

D5 号土坑



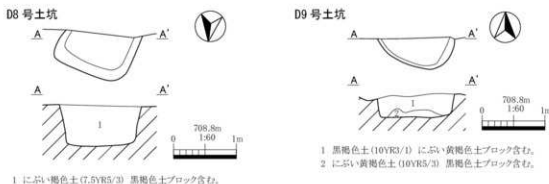
- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) にぶい褐色土ブロック含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 3 にぶい褐色土 (7.5YR5/3) 黒褐色土・にぶい褐色土ブロック含む
- 4 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 黒褐色土ブロック含む。
- 5 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 混入物なし。
- 6 黒褐色土 (10YR3/1) 混入物なし。

D7 号土坑



- 1 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 黒褐色土ブロック多量含む。
- 2 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 軽石含む。

第30図 D1・D2・D3・D4・D5・D6・D7 号土坑遺構図



第 31 図 D8・D9 号土坑遺構図

D5 号土坑 (第 30 図) III-10 グリッドに位置し、北側が調査区外に延びる。東側にテラス状の張り出し部があり、東西 1.85m、南北 1.05m 以上、主軸は $N-1^\circ-E$ である。検出面からの深さは 0.79m を測り、断面は逆台形である。

D6 号土坑 (第 30 図) III-9・10 グリッドに位置し、D7 号土坑より新しく、南側が調査区外に延びる。隅丸方形を呈するものと考えられる。西側がテラス状に高くなる。東西 1.60m、南北 0.66m 以上、主軸は $N-4^\circ-E$ である。検出面からの深さは 0.43m を測り、断面は逆台形である。

D7 号土坑 (第 30 図) III-9・10 グリッドに位置し、D6 号土坑より古く、北側が調査区外に延びる。東側がテラス状に張り出した隅丸方形を呈するものと考えられる。東西 1.38m、南北 0.60m 以上、主軸は $N-6^\circ-E$ である。検出面からの深さは 0.70m を測り、断面は逆台形である。

D8 号土坑 (第 31 図) III-8 グリッドに位置し、南側が調査区外に延びるが、隅丸方形を呈するものと考えられる。東西 1.21m、南北 0.67m 以上、主軸は $N-14^\circ-E$ である。検出面からの深さは 0.64m を測り、断面は逆台形である。

D9 号土坑 (第 31 図) III-8 グリッドに位置し、北側が調査区外に延びる。東西 1.16m 以上、南北 0.51m 以上で、検出面からの深さは 0.33m を測り、断面は逆台形である。

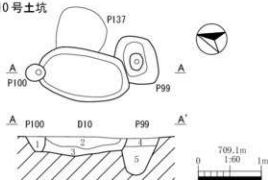
D10 号土坑 (第 32 図) IX-2・3 グリッドに位置し、F5 号掘立柱建物址・P137 より新しく、P100 より古い。平面形は楕円形で、長軸 1.46m、短軸 0.83m、主軸は $N-7^\circ-W$ である。検出面からの深さは 0.31m で、断面は逆台形である。

D11 号土坑 (第 32 図) V-23 グリッドに位置し、F5 号掘立柱建物址・P113 より新しい。平面形は楕円形で、長軸 2.34m、短軸 1.49m、主軸は $N-86^\circ-E$ である。検出面からの深さは 0.37m で、南側にテラス状の段が認められる。断面は逆台形である。

D12 号土坑 (第 32 図) V-18 グリッドに位置し、D13 号土坑より古い。平面形は不整長方形で、長軸 2.19m、短軸 1.41m、主軸は $N-80^\circ-E$ である。検出面からの深さは 0.22m で、断面は逆台形である。

D13 号土坑 (第 32 図) V-18 グリッドに位置し、D12 号土坑より新しい。平面形は北西側が丸く張り出した隅丸長方形で、張り出した部分にテラス状の段を有する。長軸 2.05m、短軸 1.37m、主軸は $N-3^\circ-W$ である。検出面からの深さは 1.01m で、断面は逆台形である。

D10号土坑



P100

1 黒褐色土(10YR3/1) 軽石含む。

D10

2 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック少量含む。

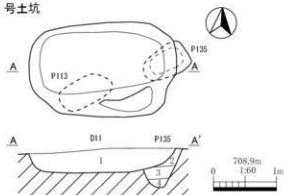
3 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック多量含む。

P99

4 黒褐色土(10YR3/1) 混入物なし。

5 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック含む。

D11号土坑



D11

1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック含む。

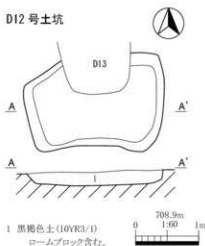
P135

2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ロームブロック含む。

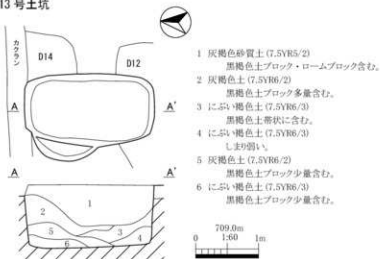
3 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 黒褐色土ブロック含む。

4 黒色土(10YR2/1) ロームブロック含む。

D12号土坑

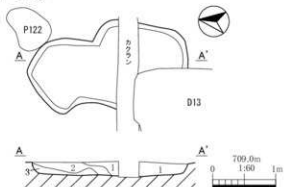
1 黒褐色土(10YR3/1)
ロームブロック含む。

D13号土坑



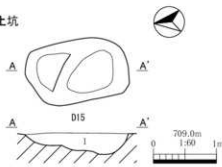
- 1 灰褐色砂質土(7.5YR5/2)
黒褐色土ブロック・ロームブロック含む。
- 2 灰褐色土(7.5YR6/2)
黒褐色土ブロック多量含む。
- 3 にぶい褐色土(7.5YR6/3)
黒褐色土帯状に含む。
- 4 にぶい褐色土(7.5YR6/3)
しまり弱い。
- 5 灰褐色土(7.5YR6/2)
黒褐色土ブロック少量含む。
- 6 にぶい褐色土(7.5YR6/3)
黒褐色土ブロック少量含む。

D14号土坑



- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 軽石含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 軽石含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック含む。

D15号土坑



1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック含む。

第32図 D10・D11・D12・D13・D14・D15号土坑遺構図

D14号土坑（第32図） V-18グリッドに位置し、D13号土坑より古い。平面形は不整形形で、長軸2.54m、短軸1.41m、主軸はN-3°-Wである。検出面からの深さは0.22mで、断面は逆台形である。

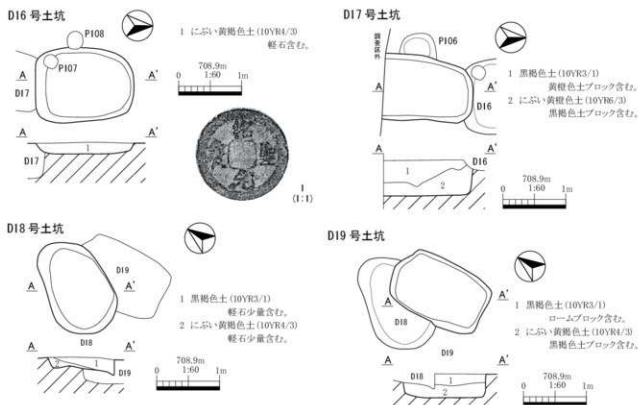
D15号土坑（第32図） V-18グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長軸1.63m、短軸0.95m、主軸はN-3°-Wである。検出面からの深さは0.34mで、断面はU字形だが、底面は平坦ではない。

D16号土坑（第33図） V-23グリッドに位置し、D17号土坑より新しい。平面形は隅丸方形で、長軸1.56m、短軸1.17m、主軸はN-2°-Wである。検出面からの深さは0.18mで、断面は逆台形である。埋土から銅銭が出土している。銅銭は紹聖元寶（北宋1094年）である。

D17号土坑（第33図） IX-3グリッドに位置し、D16号土坑より古い。南側が調査区外に延びるため全容は不明だが、隅丸長方形を呈すると考えられる。長軸1.41m以上、短軸1.02m、主軸はN-5°-Eである。検出面からの深さは0.56mで、断面は逆台形である。

D18号土坑（第33図） V-18グリッドに位置し、D19号土坑より新しい。平面形は楕円形で、長軸1.58m、短軸0.97m、主軸はN-28°-Eである。検出面からの深さは0.18mで、断面は逆台形であるが底面が平坦ではない。

D19号土坑（第33図） V-23グリッドに位置し、D18号土坑より古い。平面形は長方形で、長軸1.57m、短軸1.01m、主軸はN-62°-Wである。検出面からの深さは0.38mで、断面は逆台形である。



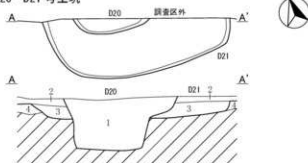
第33図 D16・D17・D18・D19号土坑遺構図

D20号土坑（第34図） V-5グリッドに位置し、D21号土坑より新しい。ほとんどが調査区外に延びるため平面形は不明だが、断面図では東側にテラス状の段が確認できる。東西1.77m以上で、検出面からの深さは0.81mで、断面は逆台形である。

D21号土坑（第34図） V-5グリッドに位置し、D20号土坑より古い。北側が調査区外に延びるため全容は不明である。東西2.78m、南北0.87m以上、主軸はN-8°-Eである。検出面からの深さは0.22mで、断面は浅いU字形である。

D22号土坑（第34図） V-24グリッドに位置し、F1号掘立柱建物・D23号土坑より新しい。平面形は隅丸方形で長軸1.40m、短軸1.22m、主軸はN-98°-Eである。検出面からの深さは0.10mで、断面は逆台形である。

D20・D21号土坑



D20号土坑

1 灰黄褐色土(10YR4/2) 軽石少量含む。

堆積土

2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 軽石少量含む。

D21号土坑

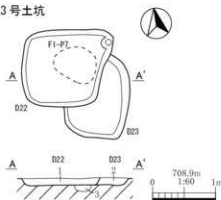
3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ロームブロック含む。

堆積土

4 灰黄褐色土(10YR5/2)



D22・D23号土坑



D22号土坑

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 軽石少量含む。

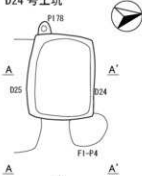
D23号土坑

2 黒褐色土(10YR3/1) 軽石少量含む。

F1-P7

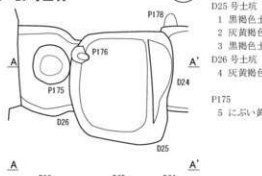
3 黒色土(10YR2/1) ロームブロック少量含む。

D24号土坑



1 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック含む。

D25・26号土坑



D25号土坑

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック少量含む。

2 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック多量含む。

3 黒褐色土(10YR3/1) 灰黄褐色土ブロック多量含む。

D26号土坑

4 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック・

黒褐色土ブロック含む。

F1-P75

5 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 黒褐色土ブロック含む。



第34図 D20・D21・D22・D23・D24・D25・D26号土坑遺構図

D23号土坑（第34図） IX-4グリッドに位置し、D22号土坑より古い。平面形は隅丸方形で長軸1.33m、短軸0.97m、主軸はN-17°-Eである。検出面からの深さは0.12mで、断面は逆台形である。

D24号土坑（第34図） V-25・VI-21グリッドに位置し、D25号土坑より新しい。平面形は方形で長軸1.34m、短軸1.07m、主軸はN-77°-Wである。検出面からの深さは0.27mで、断面は逆台形である。

D25号土坑（第34図） V-25・VI-21グリッドに位置し、D26号土坑より新しく、D24号土坑より古い。平面形は隅丸方形で、北側がわずかに張出してテラス状の段を有する。長軸1.75m、短軸1.63m、主軸はN-79°-Wである。検出面からの深さは0.72mで、断面は逆台形である。

遺物は銅銭が出土している。中央右側に「半」、左側に「両」という二文字が配される。前漢代の半両銭（前175年）と考えられる。中世に他の銅銭と共に持ち込まれたものと考えられる。

D26号土坑（第34図） VI-21グリッドに位置し、P175より新しく、D25号土坑より古い。南側が調査区外に延び、北側がD25号土坑に切られるため全容は不明である。東西1.41m、南北0.81m以上、主軸はN-16°-Eである。検出面からの深さは0.25mで、断面は逆台形である。

D27号土坑（第35図） VI-16グリッドに位置し、P200より新しく、P198・P199より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸2.79m、短軸1.19m、主軸はN-75°-Wである。検出面からの深さは0.42mで、断面は逆台形である。

埋土から遺物が出土しており、1は灰軸陶器の碗である。9世紀後半の所産とみられるが、混入品と考えられる。

D28号土坑（第35図） V-15グリッドに位置し、D19・D34・D40号土坑より新しい。平面形は楕円形で、南側と東側にテラス状の段を有する。長軸2.33m、短軸1.57m、主軸はN-6°-Eである。検出面からの深さは0.54mで、断面は逆台形である。

埋土から須恵器が出土している。1は須恵器の有台坏であるが、混入品と考えられる。

D29号土坑（第35図） V-14グリッドに位置し、D18より古い。西側がD18号土坑に切られており全容は不明だが、東西0.74m以上、南北1.16mを測り、主軸はN-1°-Eである。検出面からの深さは0.24mで、断面は逆台形である。

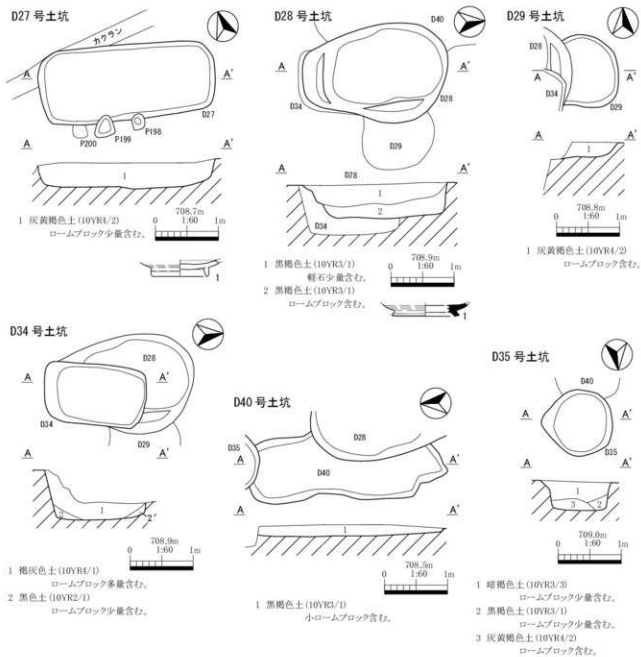
D30号土坑（第36図） VI-21グリッドに位置する。南側が調査区外に延びるため全容は不明だが、北側が張出した長方形であろうか。長軸1.25m以上、短軸1.19m、主軸はN-13°-Eである。検出面から底面までの深さは0.83mで、断面は逆台形である。

検出面から0.43mの深さで、厚さ10cm程度の灰と骨の堆積が認められた。これらは土坑中央部で面的に確認でき、その下部と北側張出し部では焼土も確認できる。骨灰層より下位の堆積は、ロームブロックを含むので、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物は出土しなかった。

本址は中世以降の火葬墓と考えられるが、土坑を埋め戻し転用したものであろうか。

D31号土坑（第36図） V-20グリッドに位置し、D39号土坑より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸2.95m、短軸1.06m、主軸はN-83°-Eである。検出面から底面までの深さは0.49mで、断面は逆台形である。

D32号土坑（第36図） VI-11グリッドに位置し、D50・D51号土坑より新しい。平面形は隅丸方形で、長軸1.83m、短軸1.46m、主軸はN-85°-Wである。検出面からの深さは0.49mで、断面は逆台形である。

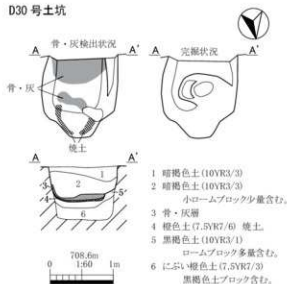


第35図 D27・D28・D29・D34・D35・D40号土坑遺構図

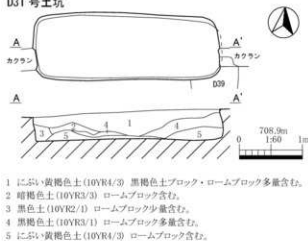
D33号土坑 (第36図) VI-21グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.55m、短軸0.96m、主軸はN-73°-Wである。検出面で、土坑周辺に角礫が検出されており、本址に伴うものである可能性がある。検出面からの深さは0.21mで、断面は浅いU字形である。

D34号土坑 (第35図) V-15グリッドに位置し、D28号土坑より古い。上部をD28号土坑に切られるが、隅丸長方形を呈すると考えられる。長軸1.62m、短軸0.95m、主軸はN-11°-Eである。検出面からの深さは0.80mで、断面は逆台形である。

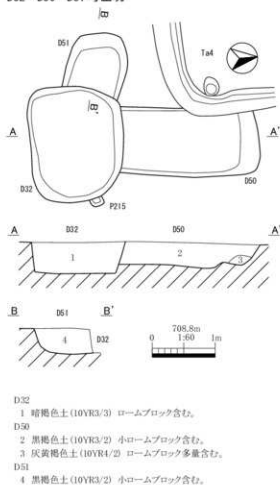
D30 号土坑



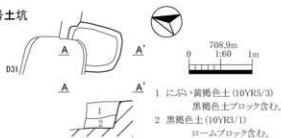
D31 号土坑



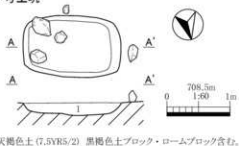
D32・D50・D51 号土坑



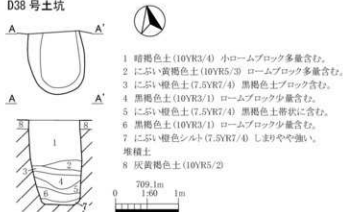
D39 号土坑



D33 号土坑



D38 号土坑



第 36 図 D30・D31・D32・D33・D38・D39・D50・D51 号土坑遺構図

D35号土坑（第35図） V-15グリッドに位置し、D40号土坑より新しい。平面形は不整形形で、長軸1.11m、短軸1.04m、主軸はN-82°-Wである。検出面からの深さは0.46mで、断面は逆台形である。

D36号土坑（第37図） VI-17～23グリッドに位置し、D61・D63号土坑より新しい。平面形は隅丸方形で、南側から西側にテラス状の段を有する。長軸2.29m、短軸1.57m、主軸はN-13°-Eである。検出面からの深さは0.49mで、断面は逆台形である。

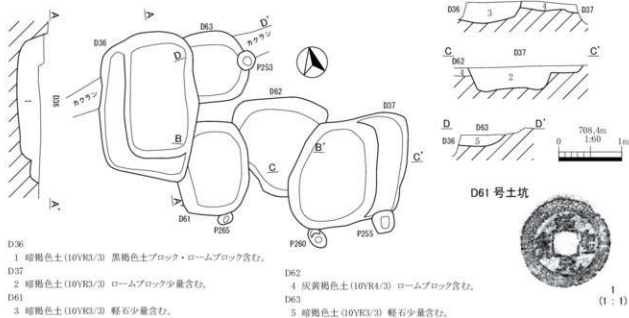
D37号土坑（第37図） VI-22グリッドに位置し、D62号土坑・P260より新しく、P255より古い。平面形は不整形形で、東側にテラス状の段を有する。長軸1.84m、短軸1.68m、主軸はN-81°-Wである。検出面からの深さは0.39mで、断面は逆台形である。

D38号土坑（第36図） VI-1グリッドに位置する。北側が調査区外に延びるため全容は不明だが、楕円形を呈すると考えられる。長軸0.98m以上、短軸0.89m、主軸はN-8°-Eである。検出面からの深さは1.34mで、断面は逆台形である。

D39号土坑（第36図） V-19グリッドに位置し、D31号土坑より古い。一部がD31号土坑に切られるが、隅丸方形を呈すると考えられる。長軸0.86m、短軸0.74m、主軸はN-7°-Wである。検出面からの深さは0.41mで、断面は逆台形である。

D40号土坑（第35図） V-15グリッドに位置し、D28・D35号土坑より古い。平面形は不整形形で、長軸3.00m、短軸1.05m、主軸はN-5°-Wである。検出面からの深さは0.17mで、すり鉢状の浅い掘込みである。

D36・D37・D61・D62・D63号土坑

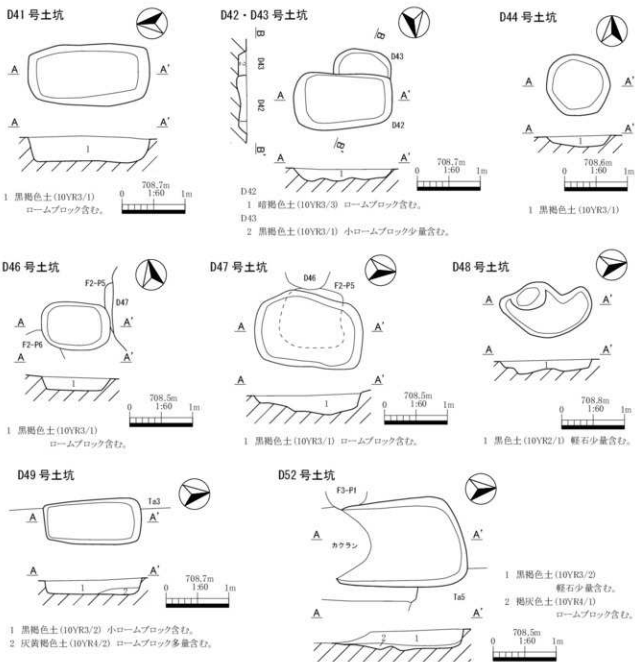


第37図 D36・D37・D61・D62・D63号土坑遺構図

D41号土坑（第38図） VI-12グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.92m、短軸0.99m、主軸はN-3°-Eである。検出面からの深さは0.41mで、断面は逆台形である。

D42号土坑（第38図） VI-12グリッドに位置し、D43号土坑より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸1.56m、短軸0.88m、主軸はN-83°-Wである。検出面からの深さは0.18mで、断面は浅いU字形だが底部は平坦ではない。

D43号土坑（第38図） VI-12グリッドに位置し、D42号土坑より古い。隅丸方形を呈すると考えられ、



第38図 D41・D42・D43・D44・D46・D47・D48・D49・D52号土坑遺構図

東西 0.91m、南北 0.38m 以上を測り、検出面からの深さは 0.12m で、断面は逆台形である。

D44 号土坑 (第 38 図) VI-17 グリッドに位置する。平面形は円形で、長軸 1.00m、短軸 0.96m である。検出面からの深さは 0.18m で、断面は浅い U 字形である。

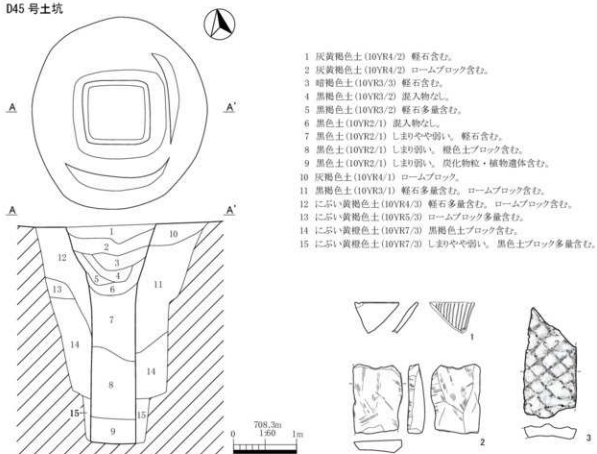
D45 号土坑 (第 39 図) VII-6・11 グリッドに位置する。検出時の平面形は円形で、長軸 3.05m、短軸 2.78m である。検出面から深さ 2.76m で段を有し、以下一辺 1.00m の方形を呈し、方形部分の深さは 0.70m である。検出面から 2m 程度の深さで湧水がみられた。堀方の形状や垂直に立上る土層堆積 (1~9 層) から、本址は井戸址と考えられ、方形の井戸枠が組まれていたものと考えられる。底面付近では腐食した板状の木材などの有機物も確認できた。

遺物は井戸枠内の埋土から、土器や平瓦などが出土しているが、いずれも混入品と考えられる。1 は土師器の碗であり、内面にはミガキによる暗文がみられる。2 は砥石である。3 は古代の平瓦であり、周辺の調査区で出土したものと同様のたたき目を有する。本址は、堀方の形状等から中世の所産と考えたい。

D46 号土坑 (第 38 図) VI-10 グリッドに位置し、F2 号掘立柱建物址より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸 1.10m、短軸 0.70m、主軸は N-76°-W である。検出面からの深さは 0.21m で、断面は逆台形である。

D47 号土坑 (第 38 図) VI-9 グリッドに位置し、F2 号掘立柱建物址より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸 1.72m、短軸 1.16m、主軸は N-3°-E である。検出面からの深さは 0.32m で、断面は浅い U 字形である。

D45 号土坑



第 39 図 D45 号土坑遺構図・遺物実測図

D48号土坑（第38図） V-15グリッドに位置する。平面形は不定形で、長軸1.46m、短軸0.87m、主軸はN-7°-Eである。検出面からの深さは0.20mで、断面は浅いU字形であるが底面は平坦ではない。

D49号土坑（第38図） VI-1グリッドに位置し、Ta3号堅穴状遺構より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸1.53m、短軸0.70m、主軸はN-8°-Eである。検出面からの深さは0.23mで、断面は逆台形である。

D60号土坑（第36図） VI-6グリッドに位置し、Ta4号堅穴状遺構・D32号土坑より古い。平面形は隅丸長方形と考えられる。長軸2.13m以上、短軸1.07m、主軸はN-7°-Eである。検出面からの深さは0.38mで、断面は逆台形である。

D61号土坑（第36図） VI-11グリッドに位置し、D32号土坑より古い。隅丸方形を呈すると考えられ、東西0.90m以上、南北0.94mを測り、検出面からの深さは0.41mで、断面は逆台形である。

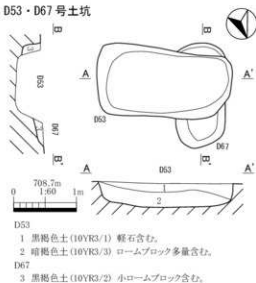
D62号土坑（第38図） VI-5グリッドに位置し、Ta5号堅穴状遺構・F3号掘立柱建物址より新しい。南側がカクランを受けており全容は不明だが、隅丸長方形を呈するものと考えられる。長軸1.98m以上、短軸1.38m、主軸はN-4°-Eである。検出面からの深さは0.29mで、断面は逆台形である。

D63号土坑（第40図） VI-7グリッドに位置し、Ta4号堅穴状遺構・D67号土坑より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸2.14m、短軸1.07m、主軸はN-63°-Wである。検出面からの深さは0.38mで、断面は逆台形である。

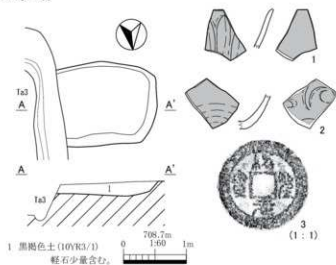
D64号土坑（第40図） VI-2グリッドに位置し、Ta3号堅穴状遺構より古い。平面形は隅丸長方形と考えられ、長軸1.52m以上、短軸1.33m、主軸はN-85°-Wである。検出面からの深さは0.22mで、断面は逆台形である。

遺物は青磁と銅銭が出土している。1・2は青磁で、1は連弁碗である。2は碗で、内面に画花文が施される。3は銅銭で、紹聖元寶（北宋 1094年）である。D54号土坑は、13世紀～14世紀の所産と考えたい。

D53・D67号土坑



D54号土坑



第40図 D53・D54・D67号土坑遺構図・遺物実測図

D55号土坑 (第41図) VI-19グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、長軸1.17m、短軸1.13m、主軸はN-13°-Eである。検出面からの深さは0.36mで、断面は逆台形である。

D56号土坑 (第41図) VI-19グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.37m、短軸0.94m、主軸はN-85°-Wである。検出面からの深さは0.19mで、断面は浅いU字形である。

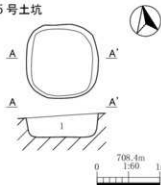
D67号土坑 (第41図) VI-14グリッドに位置し、D58・D59号土坑より新しい。平面形は隅丸方形で、長軸1.01m、短軸0.76m、主軸はN-10°-Eである。検出面からの深さは0.21mで、断面は逆台形である。

D68号土坑 (第41図) VI-14グリッドに位置し、D59号土坑より新しく、D57号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸1.50m、短軸1.05m、主軸はN-12°-Eである。検出面からの深さは0.25mで、断面は浅いU字形である。

D69号土坑 (第41図) VI-14グリッドに位置し、D57・D58号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸2.21m、短軸1.12m、主軸はN-81°-Wである。検出面からの深さは0.33mで、断面は逆台形である。遺物は、1の砥石が出土している。

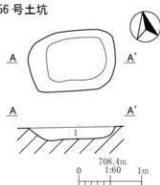
D60号土坑 (第42図) VI-15グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸2.52m、短軸1.68m、主軸はN-81°-Wである。検出面からの深さは0.24mで、断面は逆台形である。

D55号土坑



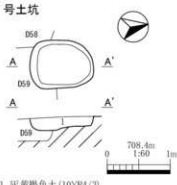
1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石少量含む。

D56号土坑



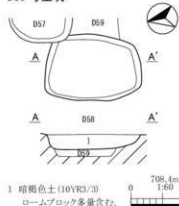
1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石少量含む。

D67号土坑



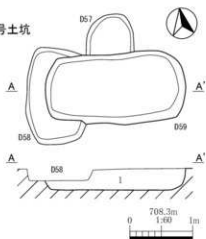
1 灰黄褐色土(10YR4/3)
黒褐色土ブロック・
ロームブロック多量含む。

D58号土坑



1 暗褐色土(10YR3/3)
ロームブロック多量含む。

D59号土坑



1 灰黄褐色土(10YR4/3)
黒褐色土ブロック・
ロームブロック多量含む。



第41図 D55・D56・D57・D58・D59号土坑遺構図・遺物実測図

D61号土坑（第37図） VI-22グリッドに位置し、D62号土坑・P265より新しく、D36号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸1.50m、短軸1.15m、主軸はN-9°-Eである。検出面からの深さは0.33mで、断面はU字形である。

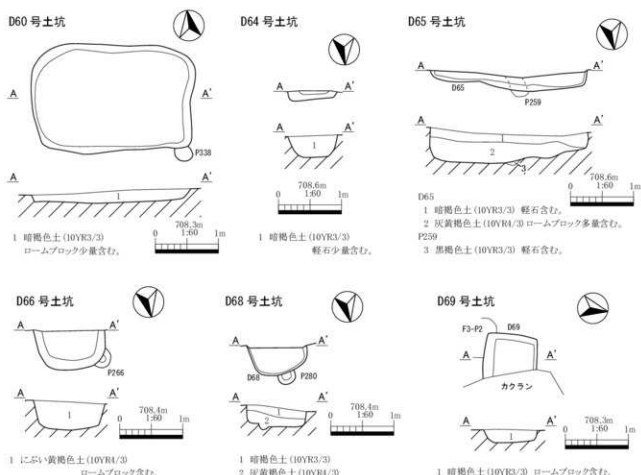
遺物は、1の銅銭が出土している。紹聖元寶（北宋 1094年）である。

D62号土坑（第37図） VI-22グリッドに位置し、D37・D61号土坑古い。平面形は不整形で、長軸1.58m、短軸1.48m、主軸はN-18°-Eである。検出面からの深さは0.13mで、断面は浅いU字形である。

D63号土坑（第37図） VI-17グリッドに位置し、D36号土坑・P253古い。隅丸方形を呈すると考えられ、東西0.88m以上、南北1.12mを測る。検出面からの深さは0.18mで、断面は浅いU字形である。

D64号土坑（第42図） VI-21グリッドに位置する。南側が調査区外に延びるため全容は不明だが、東西0.76m以上、検出面からの深さは0.37mを測る。断面は逆台形である。

D65号土坑（第42図） VI-22グリッドに位置し、南側が調査区外に延びる。長軸2.44m以上、短軸0.27m以上、主軸はN-78°-Wである。検出面からの深さは0.55mで、断面は逆台形である。



第42図 D60・D64・D65・D66・D68・D69号土坑遺構図

D66号土坑（第42図）VI-7グリッドに位置し、P266より新しい。東西1.10m、南北0.62m以上、主軸はN-7°-Eである。検出面からの深さは0.45mで、断面は逆台形である。

D67号土坑（第40図）VI-23グリッドに位置し、D53号土坑より古い。平面形は楕円形で、長軸1.65m、短軸0.78m、主軸はN-23°-Eである。検出面からの深さは0.29mで、断面は逆台形である。

D68号土坑（第42図）VI-23グリッドに位置し、P280より新しい。東西0.90m、南北0.53m以上、主軸はN-7°-Wである。検出面からの深さは0.38mで、断面は逆台形である。

D69号土坑（第42図）VI-5グリッドに位置し、F3号掘立柱建物址より新しい。長方形を呈すると考えられ、東西0.65m以上、南北0.85m、主軸はN-81°-Eである。検出面からの深さは0.26mで、断面は逆台形である。

D70号土坑（第10図）I-13グリッドに位置し、H9号住居址より新しい。隅丸長方形を呈すると考えられ、東西1.34m、南北1.04m以上、主軸はN-3°-Eである。検出面からの深さは0.43mで、断面は逆台形である。

D71号土坑（第43図）VII-4グリッドに位置し、H12号住居址・D80号土坑より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸2.32m、短軸1.22m、主軸はN-12°-Wである。検出面からの深さは0.14mだが、上部は削平されているため本来の掘込みはさらに深い。中央部では、底面上で角礫が検出された。

遺物は、須恵器の四耳壺が出土している。本址の時期については、形状や切合い関係から、中世の所産と考えられ、須恵器四耳壺は体部のみ転用されたものと考えられる。

D72号土坑（第43図）VII-9グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.89m、短軸1.18m、主軸はN-11°-Eである。検出面からの深さは0.29mで、断面は逆台形である。

D73号土坑（第43図）VII-19グリッドに位置する。平面形は不整形で、東側にテラス状の段を有する。長軸2.07m、短軸2.05m、検出面からの深さは0.29mで、断面は逆台形である。

D74号土坑（第43図）VII-19グリッドに位置する。平面形は不整形で、長軸1.86m、短軸1.28m、主軸はN-9°-Eである。検出面からの深さは0.14mで、断面は浅いU字形だが底面は平坦ではない。

D75号土坑（第43図）VII-2グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸2.88m、短軸1.74m、主軸はN-1°-Eである。検出面からの深さは0.19mで、断面は逆台形である。

遺物は銅銭が出土している。1は、熙寧元寶（北宋 1068年）である。

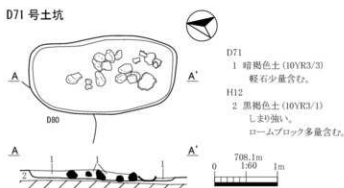
D76号土坑（第44図）III-23グリッドに位置し、D77号土坑より新しい。平面形は隅丸長方形で、長軸1.44m、短軸0.84m、主軸はN-78°-Eである。検出面からの深さは0.43mで、断面は逆台形である。

D77号土坑（第44図）III-23グリッドに位置し、P381より新しく、D76号土坑より古い。平面形は円形で、東西1.10m、南北1.08m、検出面からの深さは0.13mで、断面は浅いU字形である。

D78号土坑（第44図）III-22グリッドに位置し、D79号土坑より新しい。平面形は長方形で、長軸1.55m、短軸0.82m、主軸はN-0°-Eである。検出面からの深さは0.26mで、断面は逆台形である。

遺物は銅銭が出土している。1は右側が欠損しているが、景口口寶と読める。

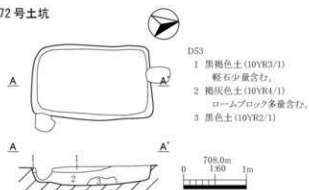
D71号土坑



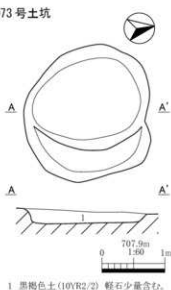
D71号土坑



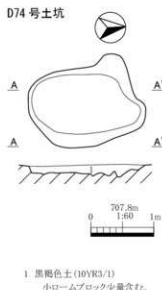
D72号土坑



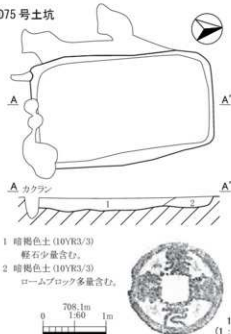
D73号土坑



D74号土坑



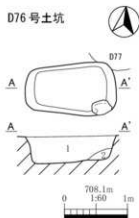
D75号土坑



第43図 D71・D72・D73・D74・D75号土坑遺構図・遺物実測図

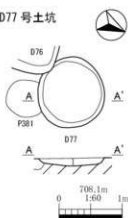
D79号土坑 (第44図) III-22グリッドに位置し、D78号土坑より古い。平面形は円形で、東西1.38m、南北1.56mである。検出面からの深さは0.81mで、断面は逆台形である。

D76号土坑



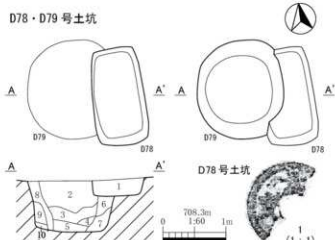
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 軽石・小ロームブロック含む。
- 2 にふい、黄褐色土 (10YR5/3) ロームブロック多量含む。

D77号土坑



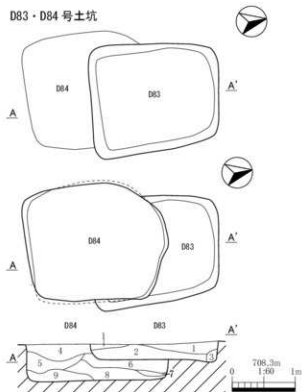
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 小ロームブロック含む。

D78・D79号土坑



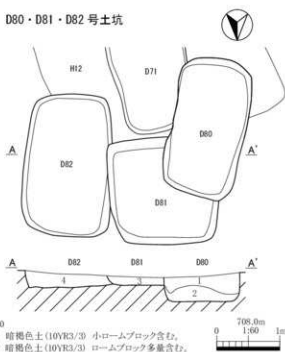
- D78
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 小ロームブロック含む。
- D79
- 2 黒色シルト質土 (10YR2/1) 軽石少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック少量含む。
- 4 にふい、黄褐色土 (10YR5/4) 黒褐色土ブロック少量含む。
- 5 黒褐色土 (10YR3/2) 軽石少量含む。
- 6 褐色土 (10YR5/1) ロームブロック含む。
- 7 にふい、黄褐色土 (10YR7/4) 軽石少量含む。
- 8 褐色土 (10YR5/1) 軽石少量含む。
- 9 にふい、黄褐色土 (10YR7/4) 軽石少量含む。
- 10 褐色土 (10YR5/1) 軽石少量含む。

D83・D84号土坑



- D83
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック多量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック少量・にふい、黄褐色土帯状に含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/1) 大ロームブロック含む。
- D84
- 4 灰黄褐色土 (10YR4/2) ロームブロック多量含む。
- 5 暗褐色土 (10YR3/3) 小ロームブロック少量含む。
- 6 灰黄褐色土 (10YR4/2) ロームブロック含む。
- 7 黒褐色土 (10YR3/1) 軽石少量含む。
- 8 灰黄褐色土 (10YR4/2) 黒褐色土ブロック・ロームブロック含む。
- 9 にふい、黄褐色土 (10YR5/3) 黒褐色土ブロック含む。

D80・D81・D82号土坑



- D80
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 小ロームブロック含む。
- 2 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック多量含む。
- D81
- 3 暗褐色土 (10YR3/3) 軽石少量含む。
- D82
- 4 暗褐色土 (10YR3/3) 小ロームブロック含む。



第44図 D76・D77・D78・D79・D80・D81・D82・D83・D84号土坑遺構図・遺物実測図

D80号土坑（第44図）Ⅶ-4グリッドに位置し、H12号住居址・D81号土坑より新しく、D71号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸2.19m、短軸1.18m、主軸は $N-11^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.39mで、断面は逆台形である。

遺物は土師器が出土している。1は土師器の皿で、内面黒色処理が施される。2は土師器の坏である。いずれもH12号住居址からの混入と考えられる。

D81号土坑（第44図）Ⅶ-4グリッドに位置し、H12号住居址・D82号土坑より新しく、D80号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、東西1.70m、東西1.69m、主軸は $N-0^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.13mで、断面は逆台形である。

D82号土坑（第44図）Ⅶ-4グリッドに位置し、H12号住居址より新しく、D81号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸2.26m、短軸1.35m、主軸は $N-6^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.22mで、断面は逆台形である。

D83号土坑（第44図）Ⅶ-1グリッドに位置し、D84号土坑より新しい。平面形は長方形で、長軸2.02m、短軸1.70m、主軸は $N-9^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.33mで、断面は逆台形である。

D84号土坑（第44図）Ⅶ-1グリッドに位置し、D83号土坑より古い。平面形は不整形で、長軸2.24m、短軸1.83m、主軸は $N-6^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.58mで、断面はフラスコ状である。

D85号土坑（第45図）Ⅶ-5グリッドに位置し、D86号土坑より新しい。平面形は楕円形で、長軸1.08m、短軸1.03m、主軸は $N-21^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.18mで、断面は逆台形である。

D86号土坑（第45図）Ⅶ-5グリッドに位置し、D87号土坑より新しく、D85号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、長軸1.66m、短軸1.06m、主軸は $N-83^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.22mで、断面は浅いU字形だが、底面は平坦ではない。

D87号土坑（第45図）Ⅶ-5グリッドに位置し、D86号土坑より古い。平面形は隅丸長方形で、北東側にテラス状の段を有する。長軸2.10m、短軸1.77m、主軸は $N-3^{\circ}-W$ である。検出面からの深さは0.27mで、断面は逆台形である。

D88号土坑（第45図）Ⅳ-22グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長軸1.30m、短軸1.08m、主軸は $N-3^{\circ}-E$ である。検出面からの深さは0.13mで、断面は浅いU字形である。

D89号土坑（第45図）Ⅶ-24グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.43m、短軸1.02m、主軸は $N-84^{\circ}-W$ である。検出面からの深さは0.82mで、断面は逆台形である。

D90号土坑（第46図）Ⅺ-4グリッドに位置し、D91号土坑より新しい。平面形は楕円形で、長軸1.71m、短軸1.39m、主軸は $N-22^{\circ}-W$ である。検出面からの深さは0.50mで、断面は逆台形である。

D91号土坑（第46図）Ⅺ-4グリッドに位置し、D90号土坑より古い。南側が調査区外に延びるため全容は不明だが、東西2.03m、南北0.88m以上の規模を有する。検出面からの深さは0.63mで、断面は段を持ったU字形である。埋土からは角礫が検出される。

D92号土坑（第46図） XI-4グリッドに位置し、D91号土坑より古い。平面形は楕円形で、長軸1.26m、短軸0.98m、主軸はN-12°-Eである。検出面からの深さは0.30mで、断面はU字形である。

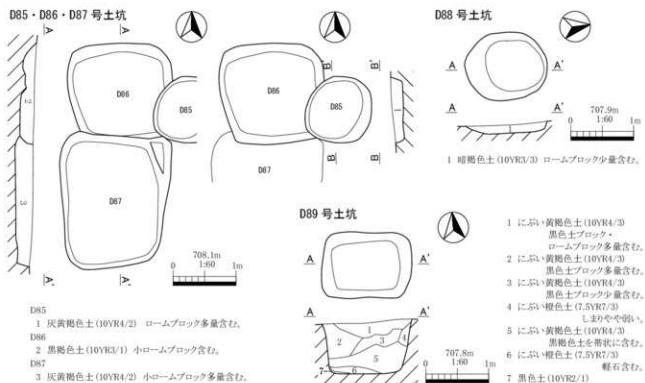
D93号土坑（第46図） VII-25グリッドに位置する。平面形は円形で、東西1.04m、南北1.08mを測る。検出面からの深さは0.30mで、断面は逆台形である。

D95号土坑（第20図） II-22グリッドに位置し、D97・D99号土坑より新しい。北側が調査区外に延びるため全容は不明だが、南側が地下でTa3号堅穴状遺構と繋がっており、一連の遺構と考えられる。

D96号土坑（第46図） III-20グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.54m、短軸1.08m、主軸はN-89°-Wである。検出面からの深さは0.14mで、断面は逆台形である。

D97号土坑（第46図） II-22グリッドに位置し、D95号土坑より古い。北側と西側が調査区外に延びるため全容は不明だが、南側にテラス状の段を有し、東西0.72m以上、南北1.21m以上の規模を有する。検出面からの深さは0.67mで、断面は逆台形である。

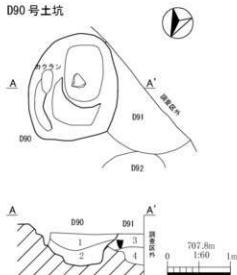
D98号土坑（第46図） XI-4グリッドに位置する。南側が調査区外に延びるため全容は不明だが、東西0.93m以上、南北0.26m以上の規模を有する。検出面からの深さは0.45mで、断面はU字形である。



第45図 D85・D86・D87・D88・D89号土坑遺構図

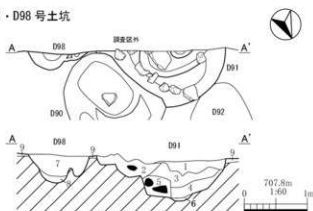
D99号土坑 (第20図) II・21グリッドに位置し、D95号土坑より古い。南端部分のみの検出であったため、底面は未検出である。東西1.54m以上の規模を有し、検出面からの深さは0.40m以上である。

D90号土坑



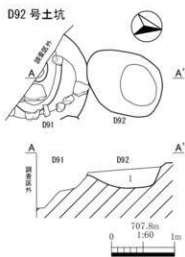
- D90
 1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 2 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック少量含む。
 D91
 3 黒褐色土(10YR3/1) 小ロームブロック含む。
 4 黒色土(10YR2/1) ロームブロック多量含む。

D91・D98号土坑



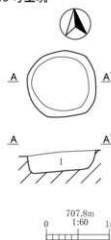
- D91
 1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック多量含む。
 2 黒褐色土(10YR3/1) 小ロームブロック含む。
 3 黒色土(10YR2/1) 小ロームブロック含む。
 4 黒色土(10YR2/1) 小ロームブロック少量含む。
 5 黒色土(10YR2/1) ロームブロック多量含む。
 6 灰白色土(10YR8/1) しまりやや弱い。
 D98
 7 黒褐色土(10YR3/1) 小ロームブロック含む。
 8 にぶい・橙色土(7.5YR7/4) 軽石含む。しまりやや弱い。
 堆積土
 9 黒褐色土(10YR3/2) 軽石少量含む。

D92号土坑



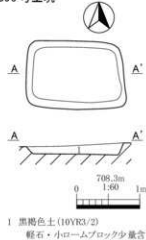
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2)
 ロームブロック・黒褐色土ブロック含む。

D93号土坑



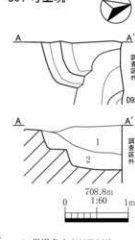
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2)
 小ロームブロック多量含む。

D96号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/2)
 軽石・小ロームブロック少量含む。

D97号土坑



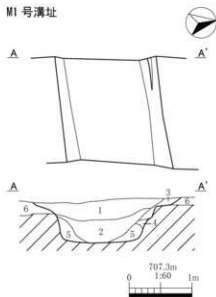
- 1 黒褐色土(10YR3/2)
 ロームブロック多量含む。
 2 黒褐色土(10YR3/3)
 ロームブロック少量含む。

第46図 D90・D91・D92・D93・D96・D97・D98号土坑遺構図

第5節 溝址

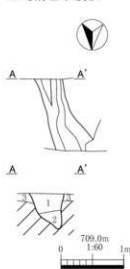
M1号溝址（第47図） XII-4グリッドに位置し、東西両側が調査区外に延びる。長さ1.64m以上、幅1.60mを測り、主軸はN-88°-Wである。検出面からの深さは0.67mで、断面は下部は逆台形で、上部は緩やかに開きながら立上る。他の方形の土坑とは、堆積状況が異なるため、溝址と判断した。遺物は出土していないが、主軸方向や形状から、中世の区画溝である可能性が考えられる。

M1号溝址



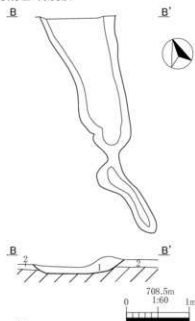
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりやや弱い。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) しまりやや強い。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック含む。
- 4 にぶい褐色土(7.5YR6/3) 黒色土ブロック含む。
- 5 黒色土(10YR2/1) ロームブロック少量含む。
- 6 黒色土(10YR2/1) 軽石含む。

M2号溝址（北側）



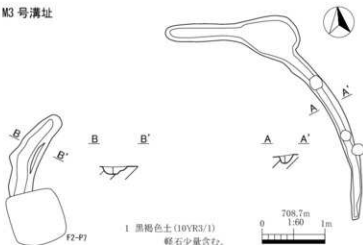
- M2
- 1 淡黄褐色砂(7.5YR8/6) しまり弱い粗砂。
 - 2 褐色土(7.5YR7/6) 砂含む。
- 堆積層
- 3 灰黄褐色土(10YR4/2) 軽石含む。

M2号溝址（南側）



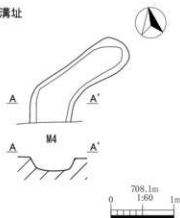
- M2
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 粗砂含む。
- 堆積層
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 軽石含む。

M3号溝址



- F2-F7
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 軽石少量含む。

M4号溝址



第47図 M1・M2・M3・M4号溝址遺構図

M2号溝址（第47図）Ⅲ-9グリッドとⅢ-14グリッドにおいて検出された溝址であるが、同一遺構と考えられる。北側部分は長さ1.20m、幅0.36～0.58m、深さ0.55m、主軸はN-18°-Wである。南側部分は長さ3.60m、幅0.18～1.10m、深さ0.24m、主軸はN-2°-Eである。いずれも平面・断面とも不整形で、埋土に多量の粗砂を含んでいることから、自然流路と考えられる。弥生土器や須恵器の小破片が出土しているが混入品と考えられ、本址は中世以降の所産と考えられる。

M3号溝址（第47図）Ⅵ-8グリッドに位置し、東西5.60m、南北3.37mの規模で半円形に湾曲する溝址である。検出面からの深さは10cm程度と浅く、遺物は出土していない。平面形から、円形周溝墓の可能性も考えられるが、主体部は確認できなかった。

M4号溝址（第47図）Ⅲ-24グリッドに位置し、D82号土坑より古い。長さ1.78m、幅0.47m～0.68m、深さ0.20mを測る。遺物が出土していないため、時期は不明である。

第6節 ビット

建物址に付随するものを除き、451基のビットが検出された。ビットは調査区全域に分布しており、弥生時代から中世までの所産と考えられる。各ビットの詳細はビット一覧表（第2表～第6表）に示す。

遺構名	グリッド	長さ	法量(m) 短径	深さ	埋土	新出関係・ 出土遺物
P1	XII-6	0.54	(0.40)	0.40	黒色土(10YR2/1)	
P2	Ⅷ-18	0.40	(0.20)	0.30	黒色土(10YR2/1)	
P3	Ⅷ-18	0.30	(0.24)	0.26	黒色土(10YR2/1)	
P4	Ⅷ-15	0.60	0.50	0.23	黒色土(10YR2/1)	
P5	Ⅷ-10	0.94	0.66	0.08	黒色土(10YR2/1)	
P6	Ⅷ-10	0.44	0.40	0.10	黒色土(10YR2/1)	
P7	Ⅷ-5	(0.26)	0.60	0.40	1:黒色土(10YR2/1) 2:黒褐色土(10YR3/1)	
P8	Ⅳ-24	0.30	0.28	0.15	黒色土(10YR2/1)	
P9	Ⅳ-19	0.34	0.34	0.10	黒色土(10YR2/1)	
P10	Ⅳ-19	0.38	0.36	0.12	黒色土(10YR2/1)	
P11	Ⅳ-19	(1.06)	0.46	0.16	黒色土(10YR2/1)	
P12	Ⅳ-19	0.60	0.48	0.16	黒褐色土(10YR3/1)	
P13	Ⅳ-19	(0.54)	0.40	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	
P14	Ⅳ-8	(0.68)	0.54	0.11	黒色土(10YR2/1)	
P15	Ⅳ-8	0.34	0.32	0.16	黒褐色土(10YR3/1)	P15より新
P16	Ⅳ-8	0.40	(0.26)	0.12	黒褐色土(10YR3/1)	P16より古
P18	Ⅳ-8	0.40	0.30	0.15	に灰・黄褐色土(10YR4/3)	
P19	Ⅳ-7	0.14	0.12	0.05	黒色土(10YR2/1)	
P20	Ⅳ-7	0.30	0.26	0.15	黒褐色土(10YR3/1)	
P21	Ⅳ-7	0.36	0.30	0.20	に灰・黄褐色土(10YR4/3)	
P22	Ⅳ-7	0.32	0.22	0.24	黒色土(10YR2/1)	
P23	Ⅳ-7	0.28	0.20	0.38	黒色土(10YR2/1)	
P24	Ⅳ-6	0.54	0.40	0.20	に灰・黄褐色土(10YR4/3)	須恵器
P25	Ⅳ-6	0.10	0.10	0.20	黒色土(10YR2/1)	
P26	Ⅳ-6	0.50	0.46	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	
P27	Ⅳ-6	0.90	(0.34)	0.29	黒褐色土(10YR3/1)	
P28	Ⅳ-6	1.06	(0.26)	0.29	黒褐色土(10YR3/1)	D42より古

遺構名	グリッド	長さ	法量(m) 短径	深さ	埋土	新出関係・ 出土遺物
P29	Ⅳ-6	0.64	0.50	0.18	黒褐色土(10YR3/1)	D42より古
P30	Ⅲ-9	0.28	0.22	0.20	黒褐色土(10YR3/1)	
P31	Ⅲ-9	0.28	0.14	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P32	Ⅲ-9	0.20	(0.10)	0.15	黒褐色土(10YR3/1)	
P33	Ⅲ-8	0.20	0.20	0.18	黒褐色土(10YR3/1)	
P34	Ⅲ-8	0.30	(0.14)	0.25	黒褐色土(10YR3/1)	
P35	Ⅲ-8	0.18	0.18	0.15	黒褐色土(10YR3/1)	
P36	Ⅲ-7	0.30	0.24	0.44	黒褐色土(10YR3/1)	
P37	Ⅲ-7	(0.68)	0.56	0.64	1:黒褐色土(10YR3/1) 2:黄褐色土(10YR4/3)	
P38	Ⅲ-6	(0.44)	0.20	0.42	黒褐色土(10YR3/1)	
P39	Ⅲ-6	0.30	0.22	0.12	黒褐色土(10YR3/1)	
P41	Ⅲ-6	0.22	0.22	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P42	Ⅲ-6	0.30	(0.16)	0.18	黒褐色土(10YR3/1)	
P43	Ⅲ-6	0.24	0.18	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P44	Ⅲ-6	0.20	0.20	0.07	黒褐色土(10YR3/1)	
P45	Ⅲ-6	0.24	0.22	0.07	黒褐色土(10YR3/1)	
P46	Ⅲ-6	0.80	(0.26)	0.46	1:黒褐色土(10YR3/1) 2:黒色土(10YR2/1)	
P47	Ⅲ-10	0.46	0.34	0.12	黒褐色土(10YR3/1)	
P48	Ⅲ-6	0.80	(0.64)	0.15	黒褐色土(10YR3/1)	P56より新
P49	Ⅲ-5	0.30	0.24	0.11	黒褐色土(10YR3/1)	
P50	Ⅳ-6	0.24	0.22	0.30	黒褐色土(10YR3/1)	
P51	Ⅲ-10	0.28	0.30	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P52	Ⅲ-10	0.24	0.18	0.13	黒褐色土(10YR3/1)	
P53	Ⅲ-10	0.24	0.20	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P54	Ⅲ-10	0.22	0.18	0.08	黒褐色土(10YR3/1)	D7より新
P55	Ⅲ-6	0.96	0.46	0.64	1:黒褐色土(10YR3/1) 2:黄褐色土(10YR4/3)	

第2表 ビット一覧表1

造橋名	グループ	長径	径間 幅径	深さ	埋土	新設埋土・ 出土建物
P56	II-10	0.20	0.10	0.22	黒色土(10VR2/1)	F98より古
P57	II-10	0.20	0.20	0.07	黒褐色土(10VR3/1)	
P58	II-10	0.24	0.16	0.08	黒褐色土(10VR3/1)	
P59	II-10	0.40	0.30	0.15	黒褐色土(10VR3/1)	
P60	II-10	0.26	0.26	0.10	黒褐色土(10VR3/1)	
P61	II-10	0.24	0.22	0.10	黒褐色土(10VR3/1)	
P62	II-5	0.26	0.12	0.09	黒褐色土(10VR3/1)	
P63	II-5	0.34	0.200	0.22	黒褐色土(10VR3/1)	
P65	II-10	0.36	0.200	0.64	1:黒褐色土(10VR3/1) 2:褐色土(10VR4/1) 3:黒褐色土(10VR3/1)	土留部
P66	II-10	0.44	0.34	0.20	黒褐色土(10VR3/1)	
P67	II-9	0.22	0.16	0.12	黒褐色土(10VR3/1)	
P68	II-9	0.30	0.30	0.12	黒褐色土(10VR3/1)	
P69	II-9	0.30	0.200	0.05	黒褐色土(10VR3/1)	
P70	II-8	0.32	0.28	0.14	黒褐色土(10VR3/1)	
P71	II-8	0.22	0.16	0.13	黒褐色土(10VR3/1)	
P72	II-8	0.28	0.24	0.14	黒褐色土(10VR3/1)	
P73	II-8	0.50	0.200	0.41	黒褐色土(10VR3/1)	
P74	XI-15	0.50	0.40	0.46	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新 埋土部 土留部
P75	XI-15	0.300	0.40	0.40	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新 P82より古
P76	XI-15	0.36	0.22	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新 P82より古
P77	XI-15	0.24	0.14	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新 P78より古
P78	XI-15	0.44	0.28	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	H1-P77より新
P79	XI-15	0.26	0.26	0.47	黒褐色土(10VR3/1)	H1-P80より新
P80	XI-15	0.24	0.22	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新 P79より古 H1より新 P82より古
P81	XI-15	0.34	0.200	0.41	黒褐色土(10VR3/1)	H1-P82- P81より新
P82	XI-15	0.32	0.200	0.44	黒褐色土(10VR3/1)	H1-P82- P81より新
P83	XI-15	0.28	0.26	0.37	黒褐色土(10VR3/1)	H1-P82より新
P84	XI-11	0.36	0.36	0.31	黒褐色土(10VR3/1)	H2より新
P85	XI-11	0.40	0.32	0.42	黒褐色土(10VR3/1)	H2より新
P86	XI-11	0.34	0.24	0.42	黒褐色土(10VR3/1)	H2より新
P87	XI-11	0.36	0.32	0.32	黒褐色土(10VR3/1)	H2より新
P88	XI-15	0.30	0.10	0.35	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新
P89	XI-15	0.34	0.26	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	H1-P75- P86より新 土留部
P90	XI-15	0.24	0.20	0.21	黒褐色土(10VR3/1)	H1より新
P92	II-6	0.46	0.18	0.48	暗褐色土(10VR3/3)	H4より新
P93	I-10	0.16	0.14	0.32	黒褐色土(10VR3/1)	H4より新
P94	I-10	0.28	0.22	0.26	暗褐色土(10VR3/3)	H4より新 土留部
P95	I-10	0.34	0.22	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	H4より新
P96	I-10	0.22	0.20	0.24	1:黒褐色土(10VR3/1) 2:にじみ黄褐色土(10VR1/3)	H4より新
P97	I-10	0.30	0.14	0.31	黒褐色土(10VR3/1)	H4より新
P98	IX-2	0.70	0.46	0.32	黒褐色土(10VR3/1)	土留部
P100	V-23	0.28	0.24	0.24	黒褐色土(10VR3/1)	D102より古
P101	IX-3	0.52	0.50	0.31	黒褐色土(10VR3/1-3/2)	
P102	IX-3	0.80	0.62	0.27	黒褐色土(10VR3/1)	P134より古 埋土部

造橋名	グループ	長径	径間 幅径	深さ	埋土	新設埋土・ 出土建物
P103	IX-3	0.84	0.64	0.36	褐色土(10VR4/1)	養生土留・埋土部
P104	IX-3	0.22	0.30	0.36	褐色土(10VR4/1)	
P105	IX-3	0.40	0.36	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	
P106	IX-4	0.50	0.34	0.24	黒褐色土(10VR3/1)	D17より古
P107	V-23	0.22	0.20	0.20	褐色土(10VR4/1)	D16より古
P108	V-24	0.28	0.26	0.20	褐色土(10VR4/1)	D16より古
P109	V-23	0.30	0.26	0.16	黒褐色土(10VR3/1)	
P110	V-23	0.22	0.200	0.22	褐色土(10VR4/1)	P111より新
P111	V-23	0.60	0.44	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	P130より古 埋土部
P112	V-22	0.24	0.15	0.26	黒褐色土(10VR3/1)	
P115	V-17	0.30	0.30	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	土留部
P116	V-17	0.62	0.60	0.14	黒褐色土(10VR3/1)	養生土留
P117	V-17	0.64	0.56	0.36	黒褐色土(10VR3/1)	養生土留
P118	V-17	0.40	0.36	0.07	黒褐色土(10VR3/1)	
P119	V-12	0.36	0.24	0.20	黒褐色土(10VR3/1)	
P120	V-12	0.62	0.50	0.20	黒褐色土(10VR3/1)	P121より古
P121	V-12	0.52	0.30	0.28	黒褐色土(10VR3/1)	P120より古
P122	V-12	0.76	0.60	0.16	黒褐色土(10VR3/1)	
P123	V-23	0.24	0.22	0.16	黒褐色土(10VR3/1)	
P124	V-23	0.22	0.18	0.26	黒褐色土(10VR3/1)	
P125	V-24	0.54	0.54	0.20	1:褐色土(10VR4/1) 2:黒褐色土(10VR3/1)	円筒
P126	V-24	0.22	0.20	0.38	黒褐色土(10VR3/1)	
P127	V-24	0.38	0.32	0.47	黒褐色土(10VR3/1)	橋石
P128	V-24	0.26	0.26	0.32	黒褐色土(10VR3/1)	
P129	V-19	0.62	0.52	0.12	褐色土(10VR4/1)	
P130	V-14	0.26	0.26	0.13	黒褐色土(10VR3/1)	
P131	V-14	0.66	0.60	0.60	黒褐色土(10VR3/1)	
P132	V-14	1.04	1.00	0.24	黒褐色土(10VR3/1)	養生土留
P133	V-14	0.82	0.30	0.15	黒褐色土(10VR3/1)	
P134	IX-3	0.30	0.18	0.24	褐色土(10VR3/1)	P102より新
P137	IX-2	0.80	0.66	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	D102より古 埋土部
P138	V-25	0.80	0.60	0.20	黒褐色土(10VR3/1)	F1-P139より新
P139	V-14	0.18	0.12	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	
P140	V-19	0.20	0.16	0.08	黒褐色土(10VR3/1)	
P141	V-13	0.42	0.34	0.10	暗褐色土(10VR3/3)	
P142	V-14	0.18	0.18	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P143	V-22	0.18	0.16	0.28	黒褐色土(10VR3/1)	
P144	V-22	0.22	0.20	0.22	暗褐色土(10VR3/3)	
P145	IX-4	0.68	0.44	0.30	暗褐色土(10VR3/3)	
P146	V-25	0.20	0.18	0.38	暗褐色土(10VR3/3)	
P147	V-24	0.80	0.78	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	P181-P182-P187より古 土留部
P148	V-24	0.26	0.24	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P149	V-25	0.22	0.20	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	
P150	V-25	0.36	0.32	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	
P151	V-25	0.30	0.26	0.38	暗褐色土(10VR3/3)	
P152	V-25	0.52	0.24	0.36	1:暗褐色土(10VR3/3) 2:にじみ黄褐色土(10VR1/3)	
P153	V-25	0.22	0.18	0.08	にじみ黄褐色土(10VR4/3)	
P154	V-25	0.34	0.30	0.28	暗褐色土(10VR3/3)	

第3表 ビット一覧表2

遺構名	グループ	長さ	法量(m) 短径	深さ	埋土	新日期・ 出土遺物	遺構名	グループ	長さ	法量(m) 短径	深さ	埋土	新日期・ 出土遺物
P155	V-25	0.32	0.22	0.22	黒褐色土(10VR3/1)		P204	VI-16	0.29	0.22	0.32	暗褐色土(10VR3/3)	
P156	V-25	0.20	0.24	0.32	暗褐色土(10VR3/3)		P205	VI-16	0.50	0.32	0.23	黒褐色土(10VR3/1)	
P157	V-25	0.24	0.20	0.30	暗褐色土(10VR3/3)		P206	VI-16	0.24	0.22	0.07	暗褐色土(10VR3/3)	
P158	V-20	0.18	0.18	0.10	暗褐色土(10VR3/3)		P207	VI-16	0.26	0.22	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P159	V-20	0.34	0.30	0.17	暗褐色土(10VR3/3)		P208	VI-16	0.30	0.24	0.28	暗褐色土(10VR3/3)	
P160	V-19	0.22	0.22	0.20	暗褐色土(10VR3/3)		P209	VI-16	0.30	0.22	0.23	暗褐色土(10VR3/3)	
P161	V-14	0.62	0.40	0.12	暗褐色土(10VR3/3)		P210	VI-17	0.44	0.26	0.38	暗褐色土(10VR3/3)	
P162	V-15	0.34	0.34	0.10	暗褐色土(10VR3/3)		P211	VI-12	0.32	0.24	0.32	暗褐色土(10VR3/3)	
P163	V-9	0.44	0.30	0.12	暗褐色土(10VR3/3)		P212	VI-11	0.34	0.32	0.18	暗褐色土(10VR3/3)	
P164	V-10	0.26	0.22	0.16	暗褐色土(10VR3/3)		P213	VI-11	0.22	0.20	0.08	黒褐色土(10VR3/1)	
P165	V-10	0.46	0.44	0.10	暗褐色土(10VR3/3)		P214	VI-6	0.34	0.26	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P166	V-10	0.70	0.38	0.22	暗褐色土(10VR3/3)		P215	VI-11	0.20	0.10	0.20	黒褐色土(10VR3/1)	D3229古
P167	V-10	0.30	0.26	0.48	暗褐色土(10VR3/1)		P216	V-23	0.20	0.18	0.20	黒褐色土(10VR3/2)	
P168	V-5	0.60	0.44	0.22	黒褐色土(10VR3/1)		P217	IX-4	0.24	0.20	0.24	暗褐色土(10VR3/2)	
P169	V-10	1.00	0.60	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	F170より新	P218	V-24	0.30	0.24	0.30	暗褐色土(10VR3/2)	
P170	V-10	0.18	0.18	0.10	暗褐色土(10VR3/3)	P169より古	P219	V-19	0.18	0.18	0.11	暗褐色土(10VR3/3)	
P171	V-10	0.20	0.18	0.06	暗褐色土(10VR3/3)		P220	V-19	0.18	0.14	0.14	暗褐色土(10VR3/2)	
P172	V-10	0.38	0.30	0.07	暗褐色土(10VR3/1)		P221	VI-12	0.60	0.30	0.28	1:暗褐色土(10VR3/3) 2:黒褐色土(10VR3/1)	弥生土層 土師器
P173	VI-11	0.42	0.34	0.24	黒褐色土(10VR3/1)	土師器	P222	VI-12	0.38	0.22	0.24	黒褐色土(10VR3/1)	
P174	V-25	0.66	0.36	0.33	1:黒褐色土(10VR3/1) 2:暗褐色土(10VR3/3)	須恵器	P223	VI-12	0.68	0.66	0.12	暗褐色土(10VR3/2)	
P175	VI-21	0.62	0.62	0.23	にがい灰褐色土(10VR5/3)	D2629古	P224	VI-17	0.24	0.24	0.10	暗褐色土(10VR3/3)	
P176	VI-21	0.30	0.30	0.38	暗褐色土(10VR3/3)	D2529古	P225	VI-17	0.68	0.48	0.32	黒褐色土(10VR3/2)	須恵器
P177	VI-21	0.22	0.20	0.27	暗褐色土(10VR3/3)		P226	VI-17	0.26	0.22	0.22	暗褐色土(10VR3/3)	
P178	VI-21	0.20	0.20	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	D2429古	P227	VI-17	0.38	0.30	0.20	黒褐色土(10VR3/2)	須恵器・土師器
P179	VI-21	0.24	0.20	0.07	暗褐色土(10VR3/3)	土師器	P228	VI-17	1.10	0.56	0.20	1:黒褐色土(10VR3/1) 2:暗褐色土(10VR3/3)	
P180	VI-21	0.24	0.18	0.22	暗褐色土(10VR3/3)	須恵器	P229	VI-18	0.80	0.48	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	
P181	V-24	0.24	0.22	0.15	暗褐色土(10VR3/3)	F14729新	P230	VI-18	0.30	0.26	0.24	黒褐色土(10VR3/2)	弥生土層
P182	V-24	0.22	0.22	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	F14729新	P231	VI-18	0.34	0.36	0.12	黒褐色土(10VR3/2)	
P183	IX-4	0.22	0.14	0.22	暗褐色土(10VR3/3)		P232	VI-18	0.28	0.22	0.22	黒褐色土(10VR3/1)	
P184	V-24	0.32	0.18	0.30	暗褐色土(10VR3/3)		P233	VI-18	0.44	0.22	0.24	黒褐色土(10VR3/1)	
P185	V-24	0.22	0.20	0.28	暗褐色土(10VR3/3)		P234	VI-18	0.40	0.32	0.14	暗褐色土(10VR3/3)	Ta129古
P186	V-24	0.18	0.16	0.15	暗褐色土(10VR3/3)	弥生土層 須恵器	P235	VI-13	0.44	0.34	0.38	黒褐色土(10VR3/2)	Ta129古
P187	V-25	0.22	0.22	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	F14729新	P236	VI-13	0.22	0.18	0.22	黒褐色土(10VR3/1)	
P188	V-25	0.22	0.22	0.30	暗褐色土(10VR3/3)		P237	VI-13	0.18	0.18	0.12	黒褐色土(10VR3/1)	Ta129古
P189	V-25	0.20	0.20	0.24	暗褐色土(10VR3/3)		P238	VI-13	0.26	0.20	0.12	黒褐色土(10VR3/1)	Ta129古
P190	IX-5	0.24	0.10	0.22	暗褐色土(10VR3/3)		P239	VI-13	0.18	0.16	0.32	黒褐色土(10VR3/2)	Ta129古
P191	V-25	0.22	0.16	0.18	暗褐色土(10VR3/3)		P240	VI-13	0.46	0.40	0.36	黒褐色土(10VR3/2)	Ta129古
P192	V-25	0.14	0.14	0.22	暗褐色土(10VR3/3)		P241	VI-13	0.80	0.70	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	Ta129古
P193	V-25	0.24	0.30	0.23	暗褐色土(10VR3/3)	F19429新	P242	VI-13	0.26	0.40	0.33	暗褐色土(10VR3/3)	Ta129古
P194	V-25	0.26	0.36	0.28	暗褐色土(10VR3/3)	F19329古	P243	VI-13	0.32	0.22	0.33	暗褐色土(10VR3/3)	Ta129古
P195	V-25	0.22	0.20	0.30	暗褐色土(10VR3/3)		P244	VI-18	0.30	0.22	0.40	暗褐色土(10VR3/3)	Ta129古
P196	V-25	0.20	0.30	0.15	暗褐色土(10VR3/3)		P246	VI-18	0.38	0.36	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	Ta129古
P197	V-24	0.18	0.14	0.26	暗褐色土(10VR3/3)		P247	VI-18	0.34	0.32	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	Ta129古
P198	V-21	0.26	0.20	0.22	暗褐色土(10VR3/3)	D2729新	P248	VI-18	0.30	0.26	0.16	暗褐色土(10VR3/3)	
P199	V-21	0.34	0.34	0.30	暗褐色土(10VR3/3)	D2729新	P249	VI-21	0.18	0.16	0.16	暗褐色土(10VR3/3)	
P200	V-21	0.22	0.20	0.25	暗褐色土(10VR3/3)	D2729古	P250	VI-17	0.50	0.40	0.32	黒褐色土(10VR3/2)	土師器
P201	V-15	0.58	0.28	0.08	暗褐色土(10VR3/3)		P251	VI-22	0.44	0.34	0.10	黒褐色土(10VR3/2)	
P202	VI-11	0.35	0.20	0.10	暗褐色土(10VR3/3)		P252	VI-17	0.76	0.64	0.18	暗褐色土(10VR3/3)	P251より古
P203	VI-11	0.28	0.20	0.22	暗褐色土(10VR3/3)		P253	VI-17	0.30	0.30	0.36	暗褐色土(10VR3/3)	D6329古

第4表 ビット一覧表3

造橋名	アクリッド	長さ	流量(m) 短径	深さ	埋土	新設設備・ 出土遺物
P254	VI-22	0.48	0.32	0.30	暗褐色土(10VR3/3)	崩石
P255	VI-22	0.36	0.36	0.26	暗褐色土(10VR3/3)	
P266	VI-23	0.34	0.16	0.26	暗褐色土(10VR3/3)	D66.2方古
P267	VI-17	0.38	0.30	0.24	にがい黄褐色土(10VR4/3)	
P268	VI-18	0.34	0.30	0.34	暗褐色土(10VR3/3)	P269.2方新
P269	VI-18	0.44	0.32	0.23	暗褐色土(10VR3/3)	P269.2方古
P270	VI-23	0.28	0.20	0.28	暗褐色土(10VR3/3)	赤土部
P271	VI-23	0.56	0.30	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	赤生土部
P272	VI-13	0.30	0.24	0.40	黒褐色土(10VR3/2)	土部部
P273	VI-13	0.28	0.26	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P274	VI-12	0.22	0.18	0.12	黒褐色土(10VR3/1)	M3.1方新
P275	VI-13	0.34	0.24	0.08	黒褐色土(10VR3/2)	
P276	VI-13	0.24	0.18	0.30	黒褐色土(10VR3/1)	
P277	VI-18	0.30	0.20	0.26	暗褐色土(10VR3/2)	赤生土部
P278	VI-23	0.30	0.20	0.26	暗褐色土(10VR3/2)	
P279	VI-23	0.36	0.30	0.30	にがい黄褐色土(10VR4/3)	
P280	VI-23	0.28	0.16	0.15	黒褐色土(10VR3/1)	D68.2方古
P281	VI-23	0.26	0.24	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	
P282	VI-23	0.30	0.20	0.34	暗褐色土(10VR3/3)	
P283	VI-23	0.22	0.18	0.16	暗褐色土(10VR3/3)	
P285	VI-24	0.42	0.18	0.30	暗褐色土(10VR3/3)	
P286	VI-24	0.20	0.18	0.11	黒褐色土(10VR3/1)	
P287	VI-24	0.30	0.22	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	
P288	VI-24	0.20	0.20	0.16	暗褐色土(10VR3/3)	P289.2方古
P289	VI-24	0.22	0.20	0.34	黒褐色土(10VR3/2)	P288・290.2方新 土部部
P290	VI-24	0.20	0.16	0.12	黒褐色土(10VR3/2)	P289.2方古
P291	VI-25	0.16	0.14	0.30	黒褐色土(10VR3/2)	Ta2.1方新
P293	VI-23	0.22	0.22	0.28	黒褐色土(10VR3/2)	
P294	VI-18	1.00	0.68	0.32	にがい黄褐色土(10VR4/3)	P295.2方古 赤生土部
P296	VI-18	0.44	0.42	0.40	暗褐色土(10VR3/3)	
P297	VI-18	0.22	0.20	0.18	暗褐色土(10VR3/3)	
P298	VI-18	0.26	0.22	0.14	暗褐色土(10VR3/3)	
P299	VI-19	0.22	0.18	0.30	暗褐色土(10VR3/3)	
P300	VI-19	0.54	0.30	0.40	暗褐色土(10VR3/3)	
P301	VI-19	0.20	0.16	0.10	黒褐色土(10VR3/2)	
P303	VI-19	0.16	0.14	0.13	暗褐色土(10VR3/3)	
P304	VI-19	0.40	0.26	0.34	1:暗褐色土(10VR3/3) 2:黒褐色土(10VR3/1)	
P305	VI-19	0.22	0.20	0.18	暗褐色土(10VR3/3)	
P306	VI-19	0.24	0.22	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	
P307	VI-9	0.18	0.14	0.10	黒褐色土(10VR3/2)	
P308	VI-8	0.24	0.20	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	
P309	VI-9	0.20	0.28	0.23	暗褐色土(10VR3/3)	
P310	VI-19	0.20	0.18	0.16	黒褐色土(10VR3/1)	
P311	VI-19	0.26	0.18	0.14	暗褐色土(10VR3/3)	
P312	VI-19	0.20	0.20	0.24	暗褐色土(10VR3/2)	P313.2方古
P314	VI-19	0.24	0.18	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	赤生土部 土部部
P315	VI-19	0.16	0.16	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	
P316	VI-19	0.16	0.14	0.06	暗褐色土(10VR3/3)	

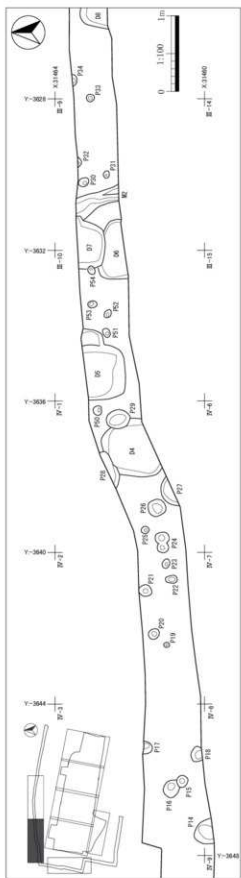
造橋名	アクリッド	長さ	流量(m) 短径	深さ	埋土	新設設備・ 出土遺物
P317	VI-19	0.18	0.16	0.21	黒褐色土(10VR3/2)	土部部
P318	VI-19	0.30	0.24	0.24	黒褐色土(10VR3/2)	土部部
P319	VI-14	0.22	0.20	0.28	暗褐色土(10VR3/2)	
P220	VI-14	0.28	0.26	0.26	暗褐色土(10VR3/3)	
P321	VI-14	0.22	0.22	0.30	暗褐色土(10VR3/3)	赤土部
P322	VI-3	0.26	0.30	0.28	暗褐色土(10VR3/3)	土部部
P323	VI-3	0.36	0.22	0.24	暗褐色土(10VR3/2)	
P324	VI-3	0.16	0.14	0.08	1:黒褐色土(10VR3/1) 2:灰黄褐色土(10VR4/3)	
P325	VI-9	0.18	0.16	0.24	黒褐色土(10VR3/2)	
P326	VI-9	0.26	0.20	0.10	暗褐色土(10VR3/3)	
P327	VI-9	0.28	0.22	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	
P328	VI-9	0.22	0.20	0.24	暗褐色土(10VR3/2)	
P329	VI-15	0.20	0.20	0.20	暗褐色土(10VR3/2)	
P330	VI-15	0.14	0.14	0.10	暗褐色土(10VR3/1)	
P331	VI-15	0.16	0.14	0.08	暗褐色土(10VR3/1)	
P332	VI-15	0.24	0.20	0.16	暗褐色土(10VR3/2)	
P333	VI-3	0.26	0.30	0.11	暗褐色土(10VR3/3)	Hk.2方新
P334	VI-19	0.28	0.22	0.18	暗褐色土(10VR3/2)	
P335	VI-19	0.20	0.18	0.13	暗褐色土(10VR3/3)	
P336	VI-20	0.22	0.16	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P337	VI-20	0.16	0.16	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P338	VI-20	0.20	0.26	0.37	暗褐色土(10VR3/2)	D60.2方新
P339	VI-20	0.26	0.20	0.15	暗褐色土(10VR3/3)	
P340	VI-20	0.18	0.16	0.08	暗褐色土(10VR3/3)	
P341	VI-15	0.40	0.28	0.13	暗褐色土(10VR3/3)	
P342	VI-15	0.26	0.22	0.28	暗褐色土(10VR3/3)	
P343	VI-20	0.22	0.20	0.20	暗褐色土(10VR3/2)	
P344	VI-20	0.44	0.36	0.26	黒褐色土(10VR3/2)	Ta2.2方古
P345	VI-20	1.00	0.94	0.40	1:黒褐色土(10VR3/1) 2:にがい褐色土(10VR3/3) 3:黒褐色土(10VR3/2)	Ta2・P346.2方古
P346	VI-20	0.46	0.16	0.36	1:黒褐色土(10VR2/2) 2:黒褐色土(10VR3/1)	Ta2.2方古 P345.2方新
P348	VI-20	0.46	0.36	0.24	黒褐色土(10VR2/1)	Ta2.2方古 P347.2方新 土部部
P350	VI-25	0.18	0.16	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	Ta2.2方古
P351	VI-25	0.34	0.12	0.26	暗褐色土(10VR3/1)	Ta2.2方古
P353	VI-9	0.46	0.36	0.43	暗褐色土(10VR3/3)	
P354	VI-9	0.30	0.24	0.12	暗褐色土(10VR3/3)	
P355	VI-10	0.20	0.16	0.14	暗褐色土(10VR3/2)	
P356	VI-10	0.22	0.22	0.08	暗褐色土(10VR3/1)	
P357	VI-10	0.62	0.50	0.14	にがい黄褐色土(10VR4/3)	
P358	VI-15	0.36	0.30	0.10	暗褐色土(10VR3/3)	
P359	VI-21	0.40	0.30	0.50	暗褐色土(10VR3/3)	
P360	VI-16	0.20	0.14	0.08	暗褐色土(10VR3/2)	
P361	VI-16	0.52	0.44	0.30	1:黒褐色土(10VR3/2) 2:にがい黄褐色土(10VR4/3)	
P362	VI-16	0.40	0.40	0.26	1:黒褐色土(10VR3/2) 2:にがい黄褐色土(10VR4/3)	
P363	VI-11	0.24	0.20	0.10	暗褐色土(10VR3/2)	D68.2方古
P364	VI-11	1.08	0.38	0.19	暗褐色土(10VR3/3)	
P365	VI-9	0.36	0.26	0.20	暗褐色土(10VR3/3)	

第5表 ビット一覧表4

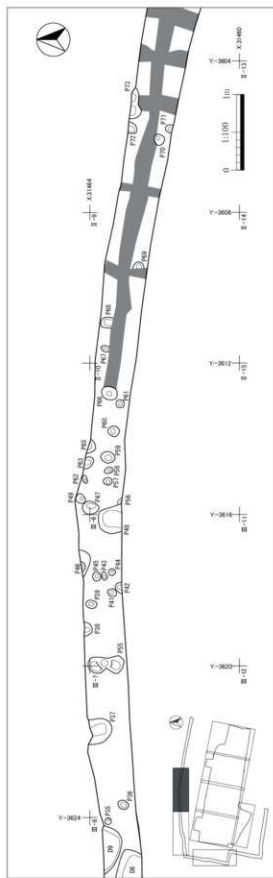
造橋名	グループ	長さ	流量(m) 短埋	深さ	埋土	新設開始・ 地上造物
P366	VI-9	0.32	0.20	0.20	暗褐色土(10YR3/3)	
P367	VI-16	0.68	0.50	0.25	にがい黄褐色土(10YR4/3)	
P368	VI-20	0.72	0.54	0.20	にがい黄褐色土(10YR4/3)	
P369	VI-16	0.56	0.46	0.20	1:暗褐色土(10YR3/3) 2:にがい黄褐色土(10YR2/2)	
P391	IV-21	0.64	0.44	0.25	にがい黄褐色土(10YR4/3)	P392より新
P392	IV-21	(0.56)	0.48	0.10	にがい黄褐色土(10YR4/3)	P391より古
P393	IV-21	0.62	0.27	0.14	にがい黄褐色土(10YR4/3)	
P394	IV-21	0.54	0.30	0.13	黒褐色土(10YR3/1)	
P395	VI-2	0.72	0.70	0.28	黒色土(10YR2/1)	
P396	VI-7	0.66	0.64	0.26	にがい黄褐色土(10YR4/3)	
P397	IV-21	0.62	0.54	0.20	黒褐色土(10YR3/1)	
P398	IV-21	0.76	0.68	0.26	黒褐色土(10YR3/1)	
P399	VI-1	0.50	0.50	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P400	VI-1	0.32	0.30	0.20	黒色土(10YR2/1)	
P401	VI-1	0.70	0.60	0.18	黒褐色土(10YR3/1)	
P402	VI-1	0.36	0.28	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P403	VI-1	0.28	0.24	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P404	VI-1	0.28	0.28	0.70	黒褐色土(10YR3/1)	
P405	VI-6	0.26	0.22	0.14	黒褐色土(10YR3/1)	
P406	VI-6	0.34	0.26	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P407	VI-11	0.80	0.62	0.20	にがい黄褐色土(10YR4/3)	
P408	VI-25	0.86	0.54	0.34	黒褐色土(10YR3/2)	
P409	VI-25	0.56	0.38	0.30	黒褐色土(10YR3/2)	
P410	VI-5	0.44	0.34	0.12	黒褐色土(10YR3/2)	
P411	VI-1	0.30	0.26	0.14	黒褐色土(10YR3/1)	
P412	VI-6	0.50	0.36	0.14	灰黄褐色土(10YR4/2)	
P413	VI-10	0.54	0.50	0.20	灰黄褐色土(10YR4/2)	
P414	VI-16	0.36	0.28	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	
P415	VI-24	0.50	0.32	0.14	暗褐色土(10YR3/3)	
P416	VI-20	0.38	0.32	0.16	黒褐色土(10YR3/2)	
P418	III-25	0.28	0.20	0.16	暗褐色土(10YR3/3)	
P419	III-25	0.40	0.40	0.20	灰黄褐色土(10YR4/2)	
P420	III-25	0.50	0.50	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P421	III-25	0.30	0.24	0.10	黒褐色土(10YR3/2)	
P422	VI-19	0.40	0.38	0.24	黒褐色土(10YR3/3)	
P423	VI-16	0.32	0.32	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P424	VI-11	0.36	0.26	0.18	黒褐色土(10YR3/2)	
P425	VI-6	0.18	0.14	0.12	黒褐色土(10YR3/1)	
P426	VI-23	0.52	0.50	0.26	1:黒褐色土(10YR3/1) 2:暗褐色土(10YR3/3) 3:黒褐色土(10YR3/1)	
P427	VI-23	0.44	0.40	0.26	暗灰色土(10YR4/1)	
P428	VI-23	1.02	0.42	0.20	黒褐色土(10YR3/1)	
P429	XI-3	0.36	0.22	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P430	VI-12	1.06	0.92	0.30	黒色土(10YR2/1)	

造橋名	グループ	長さ	流量(m) 短埋	深さ	埋土	新設開始・ 地上造物
P431	VI-11	0.36	0.36	0.18	黒褐色土(10YR3/2)	
P432	VI-12	0.28	0.24	0.23	黒褐色土(10YR3/1)	土脚部
P433	VI-12	0.36	0.30	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P434	VI-11	0.38	0.24	0.13	黒褐色土(10YR3/1)	
P435	VI-12	0.88	0.74	0.24	黒色土(10YR2/1)	
P436	VI-17	0.52	0.44	0.15	黒褐色土(10YR3/1)	
P437	VI-17	0.62	0.48	0.21	黒色土(10YR2/1)	
P438	VI-17	0.64	(0.40)	0.28	黒褐色土(10YR3/1)	
P439	VI-11	0.32	0.24	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	
P440	VI-16	0.30	0.30	0.24	黒褐色土(10YR3/2)	
P441	VI-16	0.58	0.28	0.26	黒褐色土(10YR3/1)	
P442	VI-16	0.28	0.26	0.22	黒褐色土(10YR3/2)	
P443	VI-16	0.84	0.48	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P444	VI-16	0.38	0.32	0.26	1:黒褐色土(10YR3/1) 2:灰黄褐色土(10YR4/2)	
P445	VI-16	0.38	0.38	0.10	灰黄褐色土(10YR4/2)	
P446	VI-20	0.28	0.26	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P447	VI-16	0.24	0.20	0.14	黒褐色土(10YR3/1)	
P448	VI-16	0.30	0.26	0.08	黒褐色土(10YR3/1)	
P449	VI-15	0.22	0.20	0.20	黒褐色土(10YR3/2)	
P450	VI-15	0.24	0.24	0.14	黒褐色土(10YR3/1)	
P451	VI-15	0.20	0.18	0.08	黒褐色土(10YR3/1)	
P452	VI-18	0.34	0.22	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P453	VI-18	0.30	0.26	0.18	黒褐色土(10YR3/1)	
P454	VI-18	0.26	0.26	0.08	黒褐色土(10YR3/2)	
P455	VI-18	0.38	0.26	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	
P456	VI-18	0.44	0.26	0.14	黒褐色土(10YR3/1)	
P457	VI-19	0.37	0.24	0.08	黒褐色土(10YR3/1)	
P458	VI-19	0.70	0.54	0.20	暗褐色土(10YR3/3)	
P459	XI-4	0.46	0.40	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	
P460	VI-24	0.38	0.34	0.32	黒褐色土(10YR3/2)	
P461	VI-19	0.36	(0.26)	0.22	灰黄褐色土(10YR4/2)	P462より新
P462	VI-19	0.34	0.30	0.23	黒褐色土(10YR3/1)	P461より古
P463	II-22	0.27	0.23	0.29	黒褐色土(10YR3/2)	
P464	VI-2	0.22	0.21	0.31	黒褐色土(10YR3/2)	
P465	III-19	0.32	0.26	0.30	黒褐色土(10YR3/2)	
P466	III-19	0.30	0.19	0.16	暗褐色土(10YR3/3)	
P467	III-20	0.23	0.15	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	P466より古
P468	III-20	0.19	0.16	0.10	黒褐色土(10YR3/1)	
P469	III-20	0.23	0.22	0.40	黒褐色土(10YR3/1)	
P470	III-20	0.27	0.26	0.24	黒褐色土(10YR3/1)	
P471	III-19	0.22	0.21	0.14	黒褐色土(10YR3/1)	
P472	III-24	0.16	0.16	0.16	黒褐色土(10YR3/1)	H13.2より新
P473	III-24	0.22	0.20	0.22	黒褐色土(10YR3/1)	H13.2より新

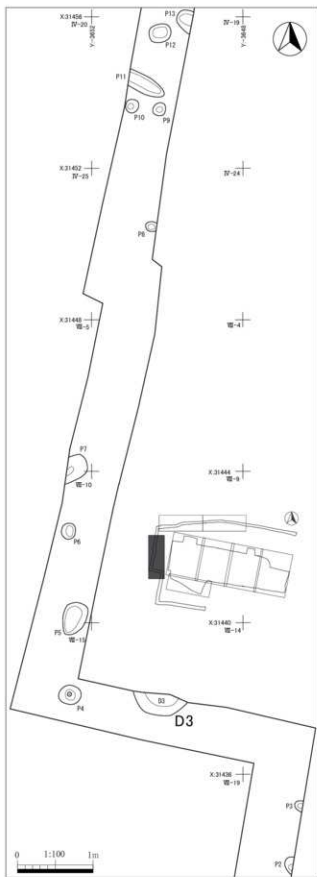
第6表 ビット一覧表5



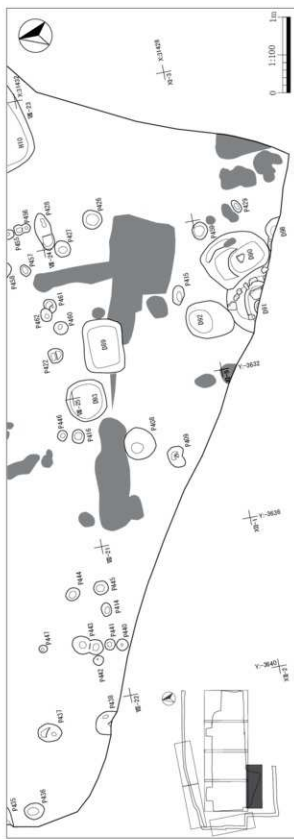
第 48 図 調査区分割図 1



第 49 図 調査区分割図 2



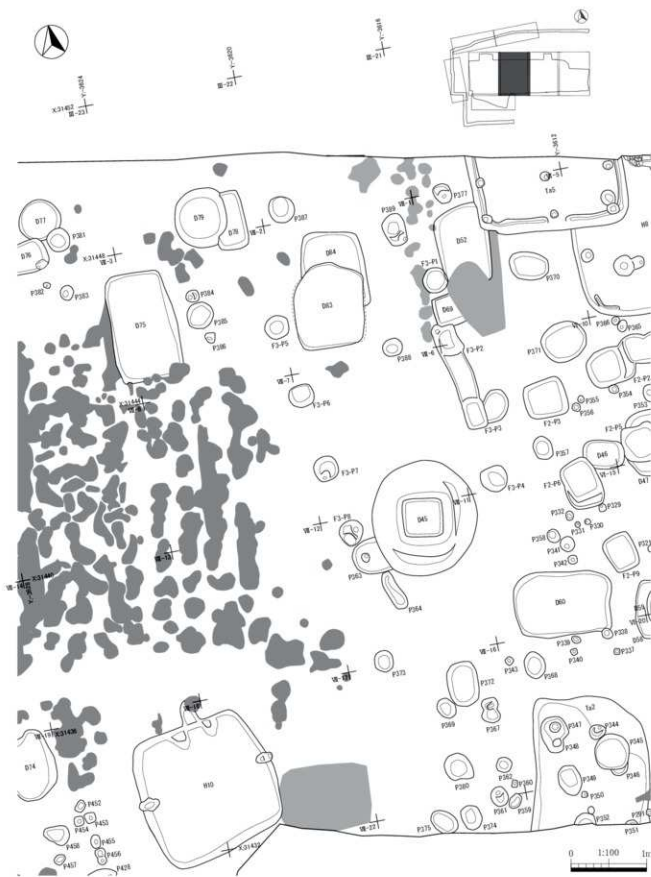
第 50 図 調査区分割図 3



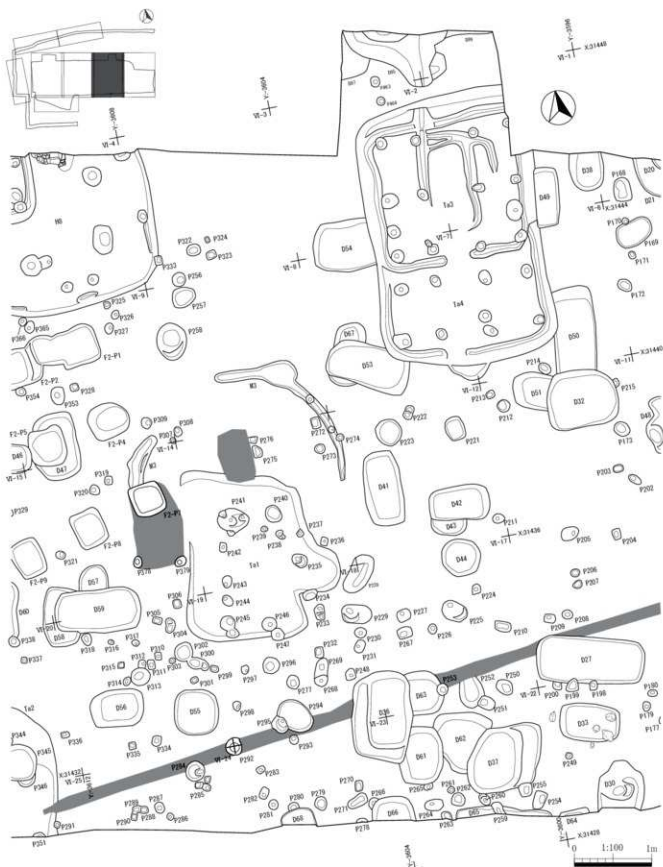
第 51 図 調査区分割図 4



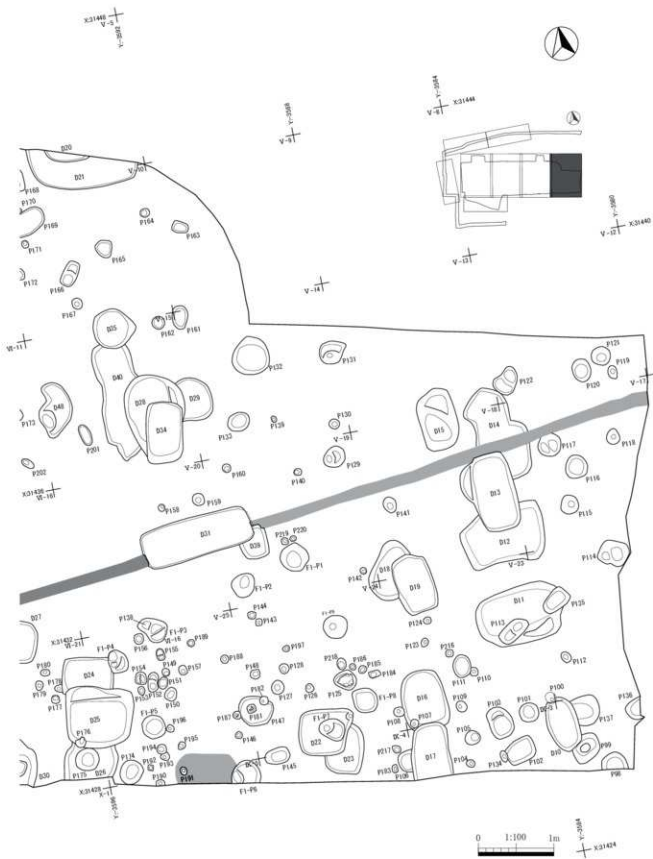
第 52 图 调查区分割图 5



第53图 调查区分割图6



第54图 调查区分割图7



第 55 图 调查区分割图 8

遺物	No.	部種	部形	形数(Cent) (単位:100件)				成形・調整・文様		出土 層位	備考
				口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	重量	内面	外面		
	1	土師器	杯	(13.0)	—	(3.6)	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ	埋土	
	2	土師器	杯	(14.2)	(5.6)	4.2	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ・回転糸切り	埋土	
	3	土師器	杯	(15.0)	—	(3.8)	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ	埋土	
	4	土師器	杯	(17.4)	—	(4.4)	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ	埋土	
	5	灰志器	杯	(14.0)	(6.6)	4.0	—	ロクロナデ	ロクロナデ・回転糸切り	埋土	内外面採行着
	6	灰志器	杯	14.5	6.4	3.6	—	ロクロナデ	ロクロナデ・回転糸切り	埋土	火葬痕
	7	灰志器	碗	(17.2)	—	(5.1)	—	ロクロナデ・筋輪	ロクロナデ・筋輪	埋土	
	8	土師器	甕	(10.8)	—	(4.7)	—	ナデ	ヘラケズリ	埋土	
	9	土師器	甕	12.9	—	(7.2)	—	ナデ	ヘラケズリ	埋土	
	10	土師器	甕	—	4.6	(7.9)	—	ナデ	ヘラケズリ	埋土	
	11	土師器	甕	—	5.1	(5.6)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	埋土	
	12	土師器	甕	—	(5.6)	(5.4)	—	ナデ	ヘラケズリ	埋土	
	13	灰志器	甕	—	—	(4.2)	—	あて具痕	タタキ・自然輪	埋土	胴部破片
	14	灰志器	甕	—	(14.0)	(6.0)	—	あて具痕・自然輪	タタキ・自然輪	埋土	
	15	灰志器	甕	—	11.8	(9.1)	—	あて具痕・自然輪	タタキ・自然輪	埋土	
	16	鉄製品	刀子	(9.3)	1.3	0.3	(7.8)	—	—	埋土	両端欠損
	17	鉄製品	鎌	(12.6)	(2.5)	(6.4)	(36.98)	—	—	埋土	刃先欠損
	1	土師器	杯	(14.6)	(6.6)	5.0	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ・回転糸切り ヘラケズリ	埋土	
	2	土師器	碗	—	7.2	(3.1)	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ・回転糸切り	埋土	
	3	灰志器	杯	(13.3)	6.5	3.6	—	ロクロナデ	ロクロナデ・回転糸切り	埋土	
	4	灰志器	有台杯	(16.0)	(11.6)	3.8	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	5	灰志器	不明	—	—	(2.4)	—	ナデ	方形状文様	埋土	
	6	鉄製品	角釘	(7.9)	(6.5)	(6.5)	(5.92)	—	—	埋土	両端欠損
	1	土師器	杯	15.3	6.3	4.6	—	ロクロナデ	ロクロナデ・筋輪・ヘラケズリ	カマド	
	2	土師器	杯	14.9	8.1	4.7	—	ロクロナデ	ロクロナデ 糸切・底面・ヘラケズリ	床面	
	3	灰志器	杯	(13.8)	(6.4)	(3.3)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	火葬痕
	4	灰志器	杯	(13.4)	(9.8)	3.4	—	ロクロナデ	ロクロナデ	床面	火葬痕
	5	灰志器	杯	13.7	10.2	3.5	—	ロクロナデ	ロクロナデ	床面	火葬痕
	6	灰志器	杯	(14.4)	8.9	4.6	—	ロクロナデ	ロクロナデ・ヘラケズリ	床面	
	7	灰志器	有台杯	(13.0)	10.0	3.3	—	ロクロナデ	ロクロナデ	床面	火葬痕
	8	土師器	甕	13.6	—	(10.0)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	埋土	
	9	土師器	甕	—	(5.6)	(8.2)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	埋土	
	10	灰志器	甕	(35.6)	(15.0)	(27.2)	—	ロクロナデ	ロクロナデ・タタキ	床面	
	11	石器	磨石	17.0	15.8	5.5	1820.0	—	—	床面	
	12	石器	磨石	19.1	9.4	6.2	1980.0	—	—	床面	
	13	鉄製品	留金具	1.3	0.5	1.1	0.8	—	—	埋土	
	1	鉄製品	刀部	(5.1)	(4.4)	(6.9)	(64.93)	—	—	埋土	
	1	灰志器	杯	—	(6.6)	(3.3)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	2	土師器	甕	(21.2)	—	(10.3)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	カマド	
	3	土師器	甕	(20.4)	—	(4.8)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	カマド	
	4	灰志器	甕	—	—	(2.4)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	5	灰志器	甕	(10.0)	—	(3.1)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	6	灰志器	甕	—	(7.0)	(2.7)	—	ロクロナデ	回転・ヘラケズリ	埋土	
	7	鉄製品	不明	(6.1)	(3.6)	(9.25)	(30.42)	—	—	床面	
	8	鉄製品	鎌	19.0	4.0	0.3	53.3	—	—	床面	
	1	灰志器	杯	—	(6.2)	(2.7)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	竈方	火葬痕
	2	土師器	甕	—	4.3	(2.2)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	竈方	
	3	土師器	甕	(20.8)	—	(6.3)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	竈方	
	1	土師器	杯	(15.2)	—	(3.9)	—	ヘラミダキ・黒色処理	ロクロナデ	埋土	
	2	土師器	甕	(20.0)	—	(5.3)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	床面	
	3	土師器	甕	(20.6)	—	(5.4)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	埋土	DR2に接合
	4	土師器	甕	20.0	—	(20.3)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	カマド	
	5	灰志器	甕	68.4	—	(7.9)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	竈方	

第7表 遺物観察表1

遺物	No.	器種	器形	形数(Cent) (単位: 100件)				成形・調整・文様		出土 層位	備考
				口径(長)	底径(幅)	器高(寸)	重量	内面	外面		
H12	6	石器	砥石	14.2	4.5	5.3	470.0	—	—	床面	
	7	石器	台石	37.5	26.4	8.5	12100.0	—	—	床面	
H13	1	灰志器	壺	(29.0)	—	(13.6)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	2	石器	打割 石片	(7.7)	(6.0)	(1.4)	(84.1)	—	—	壺方	
H14	1	灰志器	壺	14.4	—	4.0	—	ロクロナデ	ロクロナデ・ヘラケズリ	カマド	
	2	銅製品	刀子	(8.0)	(1.0)	(0.4)	(9.2)	—	—	床面	
H15	3	鉄製品	刀子	(4.7)	(1.1)	(0.4)	(5.2)	—	—	床面	
	1	土師器	坏	(13.7)	(7.9)	(4.1)	—	黒色処理	ロクロナデ	床面	底部に遺書
H17	2	灰志器	有台杯	—	(8.5)	(3.5)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	1	灰志器	坏	(14.2)	(7.9)	3.5	—	ロクロナデ	ロクロナデ・底部ヘラケズリ	埋土	火葬痕
H17	2	灰志器	坏	(15.2)	(8.4)	3.7	—	ロクロナデ	ロクロナデ・底部ヘラケズリ	埋土	火葬痕
	3	土師器	甕	(13.7)	—	(4.8)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	埋土	
Ta1	4	石器	砥石	14.9	12.8	3.8	1988.8	—	—	埋土	
	5	石器	砥石	15.0	5.5	6.3	788.2	—	—	埋土	
Ta1	1	土師器	坏	(10.2)	—	(1.3)	—	ヘラケズリ・黒色処理	ロクロナデ	埋土	
	2	灰志器	壺	(9.0)	—	(1.8)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
Ta2	3	石器	砥石	11.3	6.9	4.2	412.5	—	—	埋土	
	4	石器	砥石	(13.1)	(4.9)	(3.2)	(261.6)	—	—	埋土	
Ta2	1	土師器	甕	—	—	(2.9)	—	ナデ	ナデ	埋土	
	2	灰輪陶器	碗	(15.2)	—	(3.2)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
Ta2	3	灰輪陶器	長頸瓶	(6.4)	—	(1.3)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	4	古瀬戸	瓶子	—	(11.8)	(7.9)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	床面	13世紀
Ta3	5	青磁	蓮弁碗	—	—	(1.8)	—	旋輪	旋輪・蓮弁文	埋土	13世紀 龍泉窯
	6	石器	砥石	7.5	5.2	2.3	152.5	—	—	埋土	
Ta3	7	銅製品	鍔	(9.9)	(9.2)	(2.0)	(300.3)	—	—	床面	
	1	古瀬戸	折縁皿	(12.2)	—	(1.5)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	13世紀
F2	1	鉄製品	角釘	(6.0)	0.8	0.4	(4.37)	—	—	埋土	
F5	1	灰志器	壺	(14.7)	3.4	3.8	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	2	土師器	甕	—	4.8	(6.9)	—	ヘラナデ	ヘラケズリ	埋土	
D16	1	銅製品	銅銭	23.8	—	1.2	2.9	—	—	埋土	銅製元寶 (北宋 1094年)
D25	1	銅製品	銅銭	23.6	—	1.2	1.7	—	—	埋土	西暦千年 (66歳 BC175年)
D27	1	灰輪陶器	碗	—	(6.2)	(1.8)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
D28	1	灰志器	有台杯	—	(7.2)	(1.4)	—	ロクロナデ	ロクロナデ	埋土	
	1	土師器	坏	—	—	(3.3)	—	ロクロナデ・埴文	ロクロナデ・ヘラケズリ	埋土	
D45	2	石器	砥石	(7.4)	(5.2)	(1.6)	(79.86)	—	—	埋土	
	3	瓦	瓦	(11.7)	(5.7)	(1.4)	—	布目	布目	埋土	
D54	1	青磁	蓮弁碗	—	—	(3.5)	—	旋輪	旋輪・蓮弁文	埋土	13世紀 龍泉窯
	2	青磁	碗	—	—	(3.7)	—	旋輪・梅花文	旋輪	埋土	13世紀前半 龍泉窯
D59	1	銅製品	銅銭	24.1	—	1.0	2.7	—	—	埋土	銅製元寶 (北宋 1094年)
D59	1	石器	砥石	(8.3)	(5.9)	(5.1)	(380.7)	—	—	埋土	
D61	1	銅製品	銅銭	24.0	—	1.0	2.9	—	—	埋土	銅製元寶 (北宋 1094年)
D71	1	灰志器	四耳壺	—	(13.5)	(28.7)	—	ロクロナデ・当て具痕 ナデ	ナデ	床面	
D75	1	銅製品	銅銭	24.4	—	1.0	2.9	—	—	埋土	銅製元寶 (北宋 1094年)
D78	1	銅製品	銅銭	23.6	—	0.8	1.2	—	—	埋土	景口元寶
D80	1	土師器	壺	(13.5)	(5.9)	3.3	—	ミガキ・黒色処理	ロクロナデ・ 底部回転ヘラケズリ	埋土	
	2	土師器	坏	—	(6.2)	(2.2)	—	ミガキ	ロクロナデ・底部回転ヘラケズリ	埋土	H12と接合
Vf-21Gr	1	鉄製品	角釘	3.0	0.7	0.4	2.4	—	—	抽出	柱通

第8表 遺物観察表2

第三章 総括

道常遺跡Ⅲでは、奈良時代から中世までの遺構が検出された。これらは、周辺で調査された南近津遺跡Ⅲ・若宮遺跡Ⅳ・宮の前遺跡Ⅰ～Ⅲ・道常遺跡Ⅰ・Ⅱにおける集落跡と一連の集落である。

奈良・平安時代の遺構は、竪穴住居址や掘立柱建物址が検出されたが、時期の特定できる住居址については、概ね8世紀～9世紀に位置づけられる。本調査区東側の南近津遺跡他における発掘調査では、古墳時代後期から中世までの集落跡が確認されているが、8世紀には住居址が増加し、集落が拡大していく様相が捉えられている。本調査区では、古墳時代以前の住居址は確認されていないため、8世紀以降の集落の拡大に伴って居住が開始された地区と位置づけられる。出土した遺物は、住居址から出土する須恵器・土師器等の日常品がほとんどだが、中世の井戸跡と考えられるD45号土坑から、平瓦の破片が出土している。周辺の調査で出土している資料と併せ、寺院の存在を示唆するものである。

9世紀後半以降は集落が衰退し、一旦は居住が途絶えるようであるが、中世になると再び集落が営まれるようになる。中世集落の様相は平安時代までとは一変し、遺物はほとんど出土せず、遺構は竪穴状遺構と方形や円形の大小様々な土坑及びピット群により構成される。

竪穴状遺構（竪穴建物址と報告される場合もある）は、佐久市内では大井城跡、前田遺跡、金井城跡、池端遺跡、池端城跡、前藤部遺跡、観音堂遺跡、柳堂遺跡、番屋前遺跡、梨の木遺跡などで確認されている。竪穴状遺構の多くは、何らかの上屋構造を持つ建物址と考えられ、中世全般に認められるが、その形態は実に多様である。平面形は方形を基本とするが、長方形のもの、楕円形のもの、張出し部を有するものも認められる。竪穴内外に柱穴を伴うものと、柱穴がないものがあるが、柱穴を伴う場合でも竪穴外周に配されるもの、竪穴内の壁に沿って配されるもの、竪穴内外に総柱状に規則的に配されるものなどがある。竪穴の掘込みは明確な壁を有する逆台形のものからわずかに窪む程度のものまであり、それぞれ硬化した床面が認められるものと認められないものがある。本調査区で検出された5基についても、平面形や床面・柱穴の有無に違いがみられるが、Ta3・4・5号竪穴状遺構は同一の形態と考えられる。硬質な床面は認められないが、方形の竪穴内に総柱状に柱穴が並び、灰の堆積が認められた。また埋土は人為的に埋め戻された状況であった。形態的に類似する遺構は、前藤部遺跡で2基（Ta67・73号竪穴状遺構）、金井城跡で4基（第45・208・381・476号竪穴建物址）確認されているが、灰層は認められない。市外の類例では、駒ヶ根市遊光遺跡の第9号住居址が挙げられる。中世の焼失住居であり、敷板材や天井材などが良好な状態で検出されたことで、建物周囲に板壁を廻らせ、屋根に土をかぶせた陸屋根型式の竪穴住居が復元されている。本遺跡Ta3・4・5号竪穴状遺構についても、竪穴の形状や柱穴の配置から同様の建物形態を想定することも可能である。Ta3号竪穴状遺構とD95号土坑のような地下で繋がる形態は、佐久市では初めての発見であり、その機能は不明である。地下室と考えるには接続部分が狭小であるが、溝が集約し、北側に傾斜していることに注目すれば、排水機能が想定できるだろう。

多様な土坑群についても、佐久市内の他遺跡と同様の状況といえる。小型の建物址である可能性も考えられるが、硬化面が認められるものはなく、ほとんどが人為的に埋め戻された状況であった。主軸方向には一定の規則性が伺え、竪穴状遺構同様にほぼ東西・南北軸となる。

中世遺構の帰属時期については、竪穴状遺構及び土坑から出土した陶磁器の年代から、13世紀を上限とし、内耳土器や石臼などの遺物が出土しないことから、これらの遺物が定着する以前、14世紀代には廃絶したものと考えたい。佐久平浅間小学校建設に伴い発掘調査が行われた大豆田遺跡Ⅳにおいては、13世紀～14世紀の所産と考えられる東西・南北方向に伸びる区画溝や井戸址が検出されている。中部横断自動車道建設に伴う西近津遺跡群の発掘調査においても、12世紀以降に構築された、東西・南北軸の区画溝などが確認されており、このころ周辺一帯で大規模な開発が行われたことがわかってきている。本遺跡についても中世前半の大規模開発の中で形成されたものと考えられるが、遺構・遺物からは、館あるいは町屋的な要素は読み取れず、一般的集落跡と位置づけられるだろう。



調査区南西端部完掘状況



調査区西端部完掘状況



調査区北西端部完掘状況



調査区北側中央完掘状況



調査区北側 H3・H4 付近完掘状況



調査区北東端部完掘状況



調査区東端部完掘状況



調査区中央東側完掘状況



調査区中央西側完掘状況



調査区西側完掘状況



H1・H2 完掘状況



H1・H2 堀方完掘状況



H3・H4 完掘状況



H3・H4 堀方完掘状況



H8 完掘状況



H8 カマド完掘状況



H8 堀方完掘状況



H9 堀方完掘状況



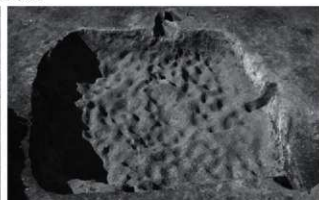
H11 堀方完掘状況



H10 完掘状況



H10 カマド完掘状況



H10 堀方完掘状況



H12 完掘状況



H12 堀方完掘状況



H13 完掘状況



H13 掘方完掘状況



H14 完掘状況



H14 掘方完掘状況



H15 完掘状況



H16・H17 完掘状況



H17 掘方完掘状況



H18 完掘状況



Ta1 完掘状況



Ta2 完掘状況



Ta2 遺物出土状況



Ta5 灰検出状況



Ta5 完掘状況



Ta3・Ta4 完掘状況



Ta3 灰検出状況



Ta3・D95 完掘状況



Ta3・D95 地下部分



D95 土層断面



F1 完掘状況



F2 完掘状況



F3 完掘状况



F5 完掘状况



F1-P3 土层断面



F2-P8 土层断面



F3-P6 土层断面



M1 完掘状况



M3 完掘状况



D1 完掘状况



D3 完掘状况



D5 完掘状况



D6 完掘状况



D7 完掘状况



D8 完掘状况



D9 完掘状況



D10 完掘状況



D11 完掘状況



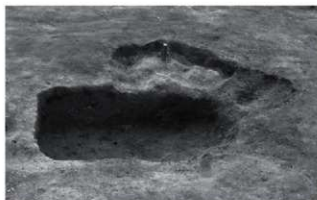
D13 完掘状況



D15 完掘状況



D17 完掘状況



D18・D19 完掘状況



D10～D19 付近完掘状況



D20・D21 完掘状況



D22・D23 土層断面



D24・D25 完掘状況



D24～D26 土層断面



D27 完掘状況



D28・D34 完掘状況



D28・D29 付近完掘状況



D31 完掘状況



D30 灰検出状況



D30 完掘状況



D33 土層断面



D36 完掘断面



D37 完掘断面



D64・D65 完掘断面



D66 完掘断面



D24～D66 付近完掘状況



D45 完掘狀況



D32・D50・D51 完掘断面



D38 完掘断面



D41 完掘断面



D42 土層断面



D52 土层断面



D53 完掘状况



D55 完掘状况



D56 完掘状况



D57・D58 完掘状况、D59 土层断面



D60 完掘状况



D69 完掘状况



D70 完掘状况



D71 遺物出土状況



D71 完掘状況



D72 土層断面



D73 完掘状況



D74 土層断面



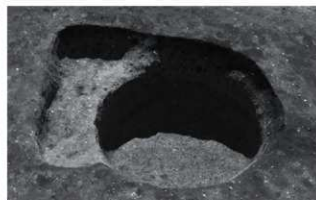
D75 完掘状況



D76・D77 完掘状況



D78・D79 土層断面



D78・D79 完掘状況



D80・D81・D82 完掘状況



D83・D84 土層断面



D83・D84 完掘状況



D85 完掘状況



D86 完掘状况



D87 完掘状况



D88 完掘状况



D89 完掘状况



D90 完掘状况



D91 完掘状况

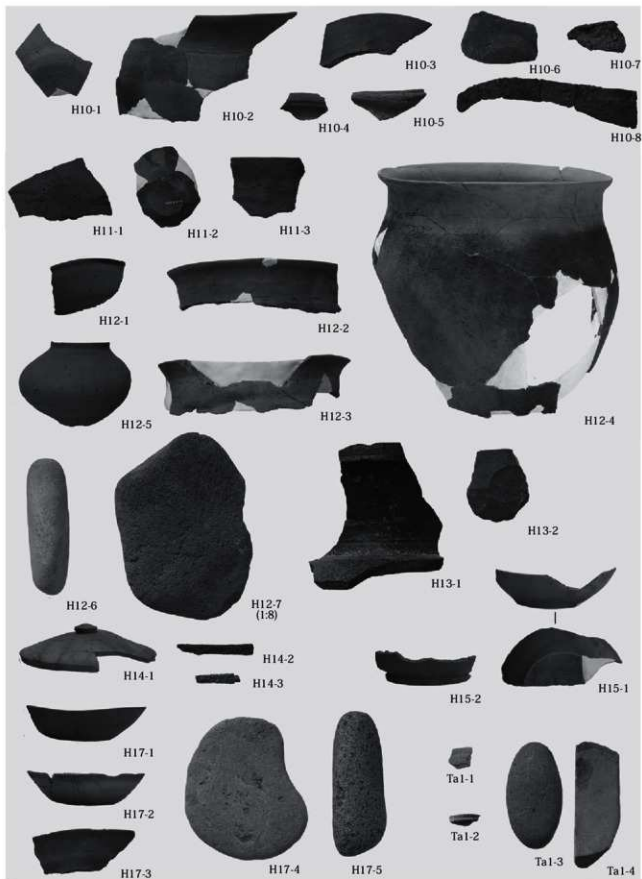


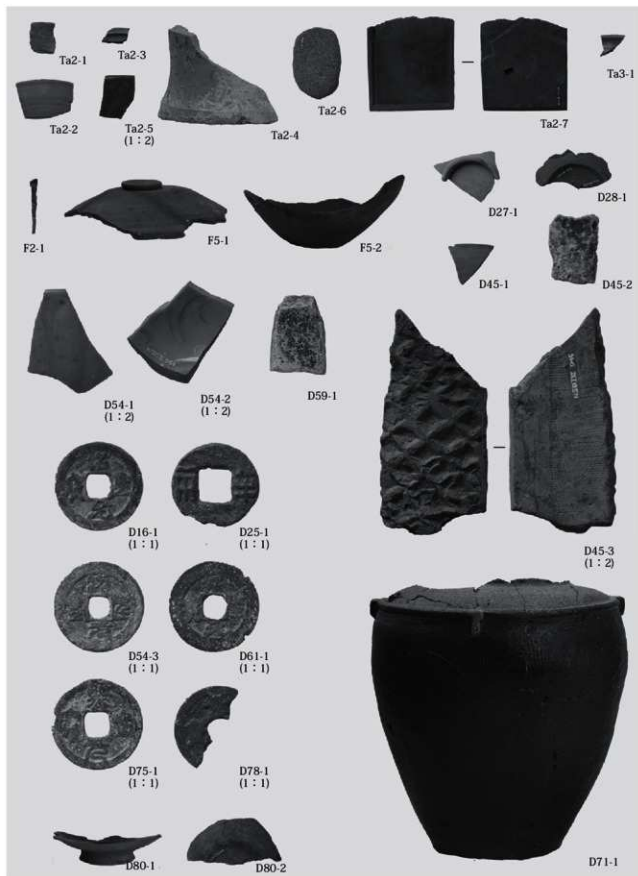
D90・D91・D92 完掘状况



D97 完掘状况







報告書抄録

ふりがな	すぼうばたいせきぐん どうじょういせきさん							
書名	周防畑遺跡群 道常遺跡Ⅲ							
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第257集							
編著者名	久保 浩一郎							
編集機関	佐久市教育委員会 文化振興課							
所在地	長野県佐久市中込 2913 Tel:0267-63-5321 Fax:0267-63-5322							
発行年月日	平成30年(2018) 11月							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期	調査面積(m ²)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
すぼうばたいせきぐん どうじょういせきさん 周防畑遺跡群 道常遺跡Ⅲ	さくしながとろ 佐久市長土呂 1248-1外	20217	7	36° 17' 00"	138° 27' 35"	20170721 ～ 20171020	1,352	高齢者 向け住 宅建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
周防畑遺跡群 道常遺跡Ⅲ	集落址	奈良・平安時代 中世	竪穴住居址 15軒 竪穴状遺構 5基 掘立住建物址 6軒 溝 址 4条 土坑 98基 ビット 451基	弥生土器、土師器、須恵器、 灰輪陶器、古瀬戸、青磁、 石器、石製品、鉄製品、銅銭、 瓦				
要約	佐久市北部の田切り台地上、標高700m内外に展開する奈良・平安時代～中世の集落址である。8～9世紀を主体とする竪穴住居址、13～14世紀と考えられる中世の竪穴状遺構等が検出された。							

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第257集

周防畑遺跡群 道常遺跡Ⅲ

平成30年(2018) 11月

編集・発行 佐久市教育委員会事務局
〒385-8501 長野県佐久市中込 3056

社会教育部 文化振興課文化財事務所
〒385-0051 長野県佐久市中込 2913

Tel:0267-63-5321

印刷所 キクハラインク株式会社